

令和 5 年度

運営協議会報告書



鶴岡高専

National Institute of Technology(KOSEN), Tsuruoka College

令和 6 年 3 月

独立行政法人国立高等専門学校機構

鶴岡工業高等専門学校

巻 頭 言



令和5年10月に本校では創立60周年記念行事を挙りましたが、この1年間を総まとめし、3月12日に委員の皆様を本校に迎えて令和5年度運営協議会を開催させていただきました。

本校では、コアとなる高専教育をもとに社会の多様化に対応すべく様々な取り組みを行っております。「自学自習」と「理魂工才」が本校創立以来の校訓で、学生達が本校の教育課程を通して発想の柔軟性と創造力、主体性と豊かな国際感覚を身につけることをビジョンとして学校運営にあたりました。これが実現できる背景は、平成27年度に本科は創造工学科1学科4コース制を、また専攻科は1専攻3コース制に改組したのち、今日まで年々ブラッシュアップされてきた本校教職員の努力があります。

昨年度見直しを完了したカリキュラム、3つの教育方針（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）、令和5年度新入生に向けたカリキュラムをもとに、教育に関しては(i) 学生生活、(ii) 国際交流、(iii) 学生が主体的にうごく課題解決型教育・スタートアップ教育の充実、(iv) CO-OP教育、インターンシップなどの学生の社会経験、などについて支援と充実に注力しました。また、本校の志願者確保に向けた取組みと本科5年生と専攻科2年生の進路決定に向けた支援と指導にも慎重に取り組んで参りました。学生が主体となる取組み成果の一つとして、NHK高専ロボコン2023で9年ぶりに全国大会に出場が決まり、当日は特別賞としてマブチモーター賞を受賞する快挙を成し遂げました。高専GIRLS SDGs×Technology コンテストでは参加85チーム中、本選でFINALIST12チームに選出されました。その他、CO-OP教育に20名、インターンシップに124名が参加し、プログラミングコンテスト、廃炉創造ロボコン、全国高専デザインコンペティションや国内外で開催された学会で発表して賞を受賞しております。課外活動でも東北地区大会で勝ち抜き全国大会に参加して活躍しました。海外派遣についても学生50名が参加して海外の大学で研修し、主体性ある学生生活を過ごしております。

業務面では、本校教職員の校務分掌の見直しによる委員会等のスリム化と組織充実化を検討するとともに、本校学生寮の宿直業務軽減に関しても検討を行ってまいりました。

入試について、昨今の中学生人口の減少に対して、どの高専でも志願者確保は大きな課題です。約10か月にわたる志願者確保の活動成果についても昨年度とほぼ同じ倍率で入試全工程を終えることができました。これも一つの第三者評価で、地域や中学校との連携を通して魅力ある高専として評価いただいているものと考えております。

令和5年度開催の運営協議会において、非常に有意義なご意見を多数いただきました。令和6年度に向けてより一層、緊張感をもって邁進してまいりたいと思っております。

関係する皆様方には、引き続き、ご指導ならびにご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年3月

鶴岡工業高等専門学校 校長 太田 道也

目 次

	ページ
◆巻 頭 言	1
目 次	2
I 令和5年度鶴岡工業高等専門学校運営協議会	3
1 開催概要	4
2 令和5年度運営協議会 委員名簿	5
3 本校関係者 出席者名簿	6
4 会議風景	7
5 議事要旨	11
II 資料編	16
運営協議会委員名簿、本校関係出席者名簿、席次表	【資料 1-1～1-3】
学校運営の概要について	【資料 2】 校 長
教務関連事項について	【資料 3】 教務主事・総務主事
学生関連及び寮務関連事項について	【資料 4】 学生主事／寮務主事
財務基盤及び管理運営について	【資料 5】 事務部長
専攻科関連事項について	【資料 6】 専攻科長
研究活動・地域貢献関連事項について	【資料 7】 地域連携センター長
関係規程等	
・鶴岡工業高等専門学校運営協議会規程	【資料 8】
その他	
・当日配付資料 「鶴岡高専Uターンサイト」	

I 令和5年度
鶴岡工業高等専門学校 運営協議会

1 運営協議会 開催概要

日 時： 令和6年3月12日（火） 14時25分から16時50分まで

場 所： 鶴岡工業高等専門学校 1号館3階「大会議室」

次 第：

開 会	総務課長（進行）
本校出席者紹介	総務課長
運営協議会委員紹介	総務課長
校長挨拶	校 長
日程説明及び配付資料の確認	総務課長
委員長（議長）選出	総務課長
委員長 挨拶	委 員 長
趣旨説明	総務課長

～本校からの説明～

【学校運営の概要】	校 長
【教務関連事項について】	教務主事・総務主事
【学生関連及び寮務関連事項について】	学生主事／寮務主事
【財務基盤及び管理運営について】	事務部長
【専攻科関連事項について】	専攻科長
【研究活動・地域貢献関連事項について】	地域連携センター長

◇ 質疑応答 ◇

委員長まとめ	委 員 長
校長謝辞	校 長
閉 会	
事務連絡	総務課長

2 令和4年度 運営協議会委員名簿

区分	No	職 名	フリガナ 氏 名 ※敬称略	
1号委員	1	鶴岡商工会議所 会頭	ウエ ノ マサ シ 上 野 雅 史	
	2	山形県庄内総合支庁長	ムラ ヤマ トモ ヤ 村 山 朋 也	
	3	田川地区中学校長会 会長 (庄内町立余目中学校長)	サ トウ ヨシ ノリ 佐 藤 義 徳	
2号委員	4	国立大学法人長岡技術科学大学長	カマ ド シゲ ハル 鎌 土 重 晴	
	5	慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長	アラ カワ カズ ハル 荒 川 和 晴	
3号委員	6	鶴岡高専技術振興会 会長 (鶴岡市長)	ミナ カワ オサム 皆 川 治	
		【代理】 鶴岡高専技術振興会 理事	ムラ カミ リョウ イチ 村 上 良 一	
	7	鶴岡工業高等専門学校峰友会 副会長	ア ベ ノブ ヒロ 阿 部 信 弘	

3 本校関係者 出席者名簿

No	職 名	氏 名
1	校 長	太田 道也
2	副校長（総務担当・教務担当）／教務主事・総務主事	佐藤 司
3	副校長（学生担当）／学生主事	瀬川 透
4	副校長（寮務担当）／寮務主事	山田 充昭
5	副校長（専攻科担当）／専攻科長	戸嶋 茂郎
6	副校長（研究・地域連携担当）／地域連携センター長	内山 潔
7	事務部長	佐藤 俊次
8	総務課長	海野 博之
9	学生課長	辻 紀彦
10	総務課課長補佐（総務担当）	大山 元
11	総務課課長補佐（財務・施設担当）	中島 栄子
12	総務課課長補佐（学生担当）【※欠席】	中島 直樹
13	総務課企画・連携係長	石川 良樹
14	総務課企画・連携係員	杉原 由希

4 会議風景



● 外部委員の方々



上野 雅史 委員長



村山 朋也 委員



佐藤 義徳 委員



鎌土 重晴 委員

4 会議風景



荒川 和晴 委員



村上 良一 委員
【※ 皆川 治 委員 代理】



阿部 信弘 委員

4 会議風景



● 本校執行部関係者



太田 道也 校長



佐藤 司 副校長



瀬川 透 副校長



山田 充昭 副校長

4 会議風景



戸嶋 茂郎 副校長



内山 潔 副校長



佐藤 俊次 事務部長



5 議事要旨

議事に先立ち、総務課長(進行)から学校関係者紹介の後、委員が紹介された。次いで、太田校長から挨拶があった。

【委員長(議長)の選出】

本校運営協議会規程第4条第1項で、委員長は「委員の互選により選出」することとなっているが、事務局から上野委員を候補とする提案があり、全会一致で同委員が選出された。

引き続き、委員長に選出された上野委員から挨拶があった。

【趣旨説明】

総務課長から本協議会の趣旨について説明があった。

【学校運営の概要について説明】

太田校長から、資料2に基づき学校運営の方針及び校長としての所感の説明があった。

【教務関連事項について説明】

佐藤教務主事・総務主事から、資料3に基づき教務関連事項の説明があった。

【学生関連及び寮務関連事項について説明】

瀬川学生主事から、資料4に基づき学生関連事項について、山田寮務主事から、寮務関連事項について、それぞれ説明があった。

【財務基盤及び管理運営について説明】

佐藤事務部長から、資料5に基づき説明があった。

【専攻科関連事項について説明】

戸嶋専攻科長から、資料6に基づき説明があった。

【研究活動・地域貢献関連事項について説明】

内山地域連携センター長から、資料7に基づき説明があった。

【質疑応答】

ここまでの説明に関する質疑応答が行われた。

なお、質疑応答の概要は次のとおり。

(●：質問・コメント(※質問者氏名等は割愛とする。))

→：回答)

- 卒業後の進路について、1/3が進学、2/3が就職ということであるが、進路選択は学生の自主性に任せているのか、指導を行い決定しているのか、また、従前の進学と就職の比率をお伺いしたい。

→ 基本的には、学生の希望どおりの進路となっており、学校で誘導することには行っていない。進学と就職の比率は、30年ほど前から現在と同じような比率である。

- 若者の地元定着が課題となっているが、人口減少の中、入学者の確保、県内企業への就職へ取り組んでいる。起業家育成事業強化及び高度情報人材の確保に向けた取組みを検討されていること、国際寮を整備され国際交流を推進していることについて、今後を期待している。

進学先について、県内の大学や大学院への進学状況をお伺いしたい。

→ 進学先は学生が自ら決定しているが、これまでの傾向としては、先輩の入学状況や入試情報を参考としているようである。従前より、山形大学への進学を希望する学生はあまりいない状況である。理由としては、本校在学後は県外や都会へ出たいという気持ちがあるためと思われる。なお、教員としては、優秀な本科生においては、大学よりも本校専攻科で研究を続けて欲しいと考えるところである。

- 海外留学に関する今後の計画と英語教育に関する特別な試みがあればお伺いしたい。

→ 学生には、在学中に短期または長期の留学をして欲しいが、夏期休業期間だけでは対応が難しい状況であるため、春期休業期間なども含めて年間を通した計画を検討している。また、令和5年度において、4年生に実施している関東方面の工場見学において、海外での工場見学を計画したが、学校行事との調整が困難であったことや、渡航費が高騰していることもあり、参加希望する学生が少なく、実施できなかったため、今後、工場見学の実施時期等を検討したい。

英語教育について、令和6年度から令和10年度にかけてグローバル人材育成事業が高専機構で開始され、TOEICスコア目標値を高くしていく必要がある。教員が授業の中で意識的に英語を使用することや、外国人非常勤講師による学内での英語教育を推進したい。

- 入学試験について、推薦と一般の実施方法をお伺いしたい。

→ 定員160名のうち、50%を推薦、50%を一般（学力）で実施している。従前までは、40%を推薦で選抜していたが、中学校より推薦される生徒は、入学後も成績は優秀なため、推薦枠を50%に拡大し、推薦入試での口頭試問を廃止した。

- 今回の入学試験倍率1.13は、どのように算出されたかお伺いしたい。

→ 正確な数値は、この場では提示できないが、推薦入試では、定員の50%達しなかったが、学力入試では受験者が増えたため、結果として1.13倍となった。

- 他高専においても入学試験における推薦枠を拡大して、中学校への訪問体制を強化しているということを知っている。県内だけでなく、広域的に訪問活動を行うと良い。また、中学生を対象とする入試対策だけではなく、その保護者（特に母親）も対象に含めることでより良い方向にいくと思う。

- みちのくGAPファンドについて、積極的に取組み、外部資金獲得につなげて欲しい。

- 学生の海外留学について、外国に拠点を持つ企業と連携して海外インターンシップを実施し、留学費用は企業に負担してもらうように、就職説明会等を通じて企業と検討すると良いと思う。

- 令和8年度に高校入試制度改革が予定されていることや私立高校への受験者・入学者が増加傾向にある中で、高専として入学試験の実施時期を前倒しするなど、検討していることがあればお伺いしたい。

→ 推薦入試に伴い、中学校で作成いただく調書等は、中学校の成績にも関係するため、提出時期の前倒しは困難なこと、学力入試は全国高専が統一して実施することから、当面は入学試験の実施時期を変更する予定は無い。

- 教員が学生と一緒に地域課題に取り組まれている。企業等との連携状況や今後の方向性についてお伺いしたい。

→ 従前から、本校教員は地域に根ざした取り組みを行っており、地域や企業からの課題を受入れ、学生と共に研究等を行っている。

- ロボコンへの協力など、OB、OGが高専のために協力できることもあると思う。学校側からの要望等があれば、連絡をして欲しい。

→ これまでの経験や技術等を活かして本校を支援いただける卒業生のデータベースのようなものがあるとありがたい。鶴岡高専Uターンサイトも運用を開始するため、今後も峰友会と連携・協力していきたい。

最後に、席上配付資料に基づき「鶴岡高専Uターンサイト」について、村上委員から説明があった

【閉会】

上野委員長から本日の会議の進行について各委員の方々より協力いただいた旨の謝辞の言葉が述べられた後、太田校長から、出席いただいた各委員の方々へ、本校に対しての貴重なご提言・ご意見をいただいた旨、謝辞の言葉が述べられ、運営協議会が閉会した。

(以上)

II 資料編

令和5年度 鶴岡工業高等専門学校運営協議会 議事

日 時： 令和6年3月12日（火）14時30分から16時30分まで

場 所： 鶴岡工業高等専門学校 1号館3階 大会議室

議 題： 1 委員長（議長）の選出について

2 鶴岡高専の概要説明（※質疑応答 含む）

3 その他

配付資料一覧

		説 明 者
1 運営協議会委員名簿、本校関係出席者名簿、席次表【資料 1】		
2 学校運営の概要について	【資料 2】	校 長
3 教務関連事項について	【資料 3】	教務主事／総務主事
4 学生関連及び寮務関連事項について	【資料 4】	学生主事・寮務主事
5 財務基盤及び管理運営について	【資料 5】	事務部長
6 専攻科関連事項について	【資料 6】	専攻科長
7 研究活動・地域貢献関連事項について	【資料 7】	地域連携センター長
8 鶴岡工業高等専門学校運営協議会規程	【資料 8】	

（注： 以降の資料は外部委員のみに配付）

- 9 学校総覧 2023
- 10 College Profile
- 11 令和5年度 学生便覧
- 12 令和6年度 学生募集要項
- 13 令和6年度 専攻科学生募集要項

日 程 及 び 概 要

開 会	総務課長（進行）
本校出席者紹介	総務課長
運営協議会委員紹介	総務課長
校長挨拶	校 長
日程説明及び配付資料の確認	総務課長
委員長（議長）選出	総務課長
委員長 挨拶	委 員 長

進 行 順 序	予定時刻	説明事項等	説明者等
趣旨説明	14:40		総務課長
学内関係者 説明	14:45	学校運営の概要について	校 長
	15:15	教務関連事項について	教務主事／総務主事
	15:25	学生関連事項及び寮務関連事項について	学生主事・寮務主事
	15:30	財務基盤及び管理運営について	事務部長
	15:35	専攻科関連事項について	専攻科長
	15:40	研究活動・地域貢献関連事項について	地域連携センター長
	15:45	【 ※各委員の方からの助言・指導 質疑応答 】	

（16:25 頃～）

委員長まとめ	委 員 長
校長謝辞	校 長
閉 会	
事務連絡	総務課長

資料 1-1

令和6年3月12日
鶴岡高専運営協議会

令和5年度鶴岡工業高等専門学校運営協議会 委員名簿

区分	No	職 名	フリガナ 氏 名 ※敬称略	備考
1号委員	1	鶴岡商工会議所会頭	ウエ ノ マサ シ 上 野 雅 史	
	2	山形県庄内総合支庁長	ムラ ヤマ トモ ヤ 村 山 朋 也	
	3	田川地区中学校長会長 (庄内町立余目中学校長)	サ トウ ヨシ ノリ 佐 藤 義 徳	
2号委員	4	国立大学法人長岡技術科学大学長	カマ ド シゲ ハル 鎌 土 重 晴	
	5	慶應義塾大学先端生命科学研究所長	アラ カワ カズ ハル 荒 川 和 晴	
3号委員	6	鶴岡高専技術振興会長 (鶴岡市長) 【代理】 鶴岡高専技術振興会理事	ミナ カワ オサム 皆 川 治 ムラカミ リョウイチ 村 上 良 一	
	7	鶴岡工業高等専門学校峰友会副会長	ア ベ ノブ ヒロ 阿 部 信 弘	

資料 1-2

令和6年3月12日
鶴岡高専運営協議会

本校関係者 出席者名簿

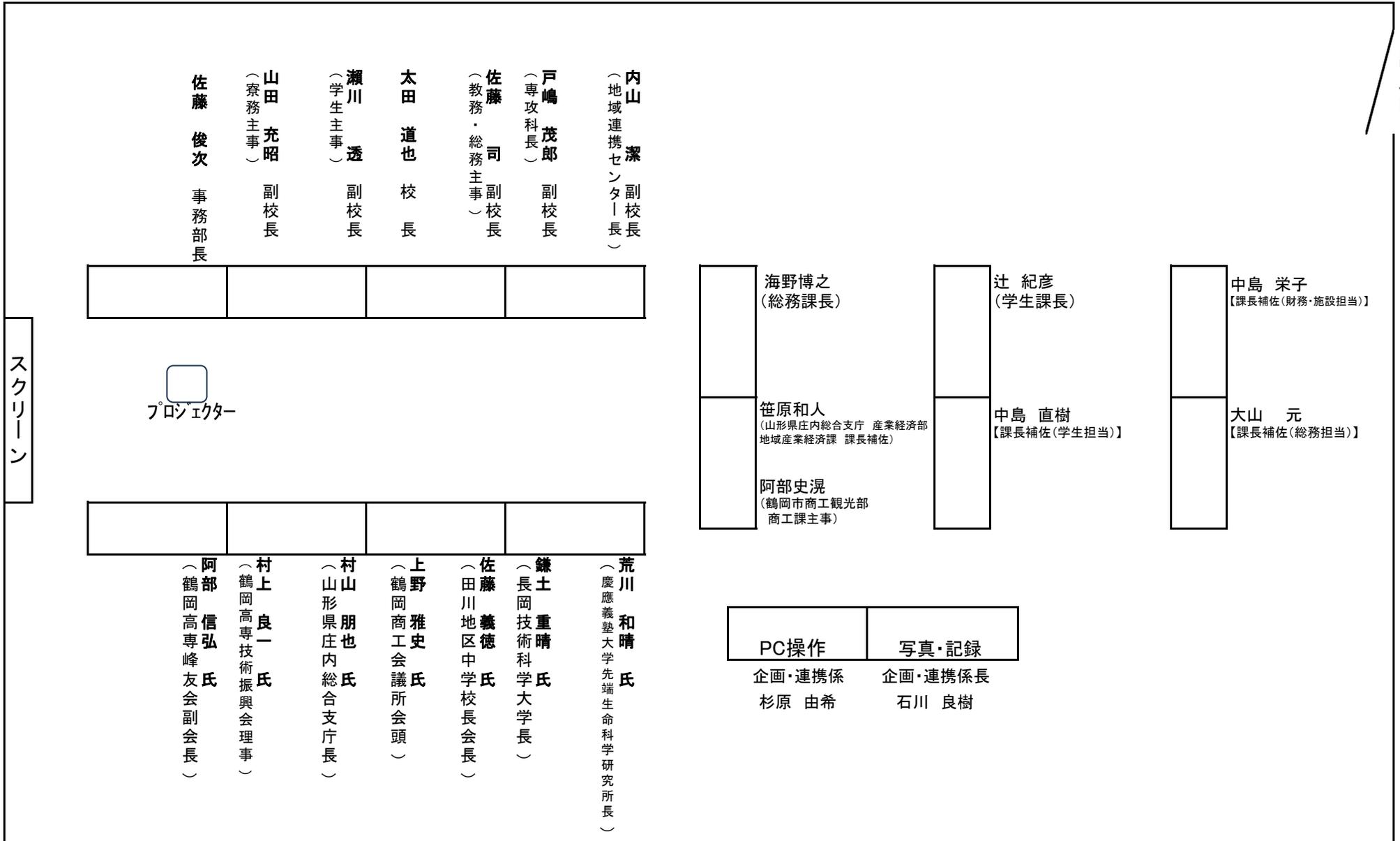
No	職 名	氏 名	備考
1	校 長	太 田 道 也	
2	副校長（総務担当・教務担当）／教務主事・総務主事	佐 藤 司	
3	副校長（学生担当）／学生主事	瀬 川 透	
4	副校長（寮務担当）／寮務主事	山 田 充 昭	
5	副校長（専攻科担当）／専攻科長	戸 嶋 茂 郎	
6	副校長（研究・地域連携担当）／地域連携センター長	内 山 潔	
7	事務部長	佐 藤 俊 次	
8	総務課長	海 野 博 之	
9	学生課長	辻 紀 彦	
10	総務課課長補佐（総務担当）	大 山 元	
11	総務課課長補佐（財務・施設担当）	中 島 栄 子	
12	総務課課長補佐（学生担当）	中 島 直 樹	
13	総務課企画・連携係長	石 川 良 樹	
14	総務課企画・連携係員	杉 原 由 希	

令和5年度 鶴岡工業高等専門学校運営協議会 席次表

資料1-3

令和6年3月12日(火)

出入口





鶴岡高専

資料 2

令和6年3月12日
鶴岡高専運営協議会

令和5年度 運営協議会 【学校運営の概要】

鶴岡工業高等専門学校

校長 太田道也

開催日： 令和6年3月12日（火）
場 所： 鶴岡高専1号館3階 大会議室

目次



NIT - Tsuruoka

- I 学校運営の方針
 - 1 校訓・基本教育目標
 - 2 令和5年度学校運営方針
- II 校長としての所感
- III 令和5年度の具体的活動の状況
 - 1 教育活動 → 教務主事
 - 2 研究活動 → 地域連携センター長
 - 3 地域連携活動 → 地域連携センター長
 - 4 学生の活躍 → 学生主事
 - 5 学生の確保・進路 → 教務主事・学生主事
 - 6 学生寮での生活 → 寮務主事

- 校訓

自学自習

理魂工才

自ら学び自ら思考しながら、目先のことだけにとらわれず、その基本となる原理を深く考え、実践を通して工学のセンスを身につける

- 基本教育目標

1. 豊かな人間性と広い視野を持ち，社会人としての倫理を身につける
2. あらゆる学習を通じて思考力を鍛え，創造力に富んだ技術者になる
3. 専門分野の基礎を良く理解し，実際の問題に応用できる能力を培う
4. 意思伝達及び相互理解のため，十分なコミュニケーション力を養う

創造工学科1学科4コース制



NIT-Tsuruoka

本校では、平成27年度に地域からの要請による産業構造の高度化に対応できる**融合複合技術者の育成**を目指し学科の大括り化による再編を行い、創造工学科1学科4コース体制を構築している。

■教育体制

- <4・5年次>
応用分野で課題発見・
解決能力など実践力を
育成
- <2・3年次>
基本コースで技術者の
素養を育成
- <1年次>
混合学級とし4学級に
分けて運営





1. 令和5年度 運営基本方針

鶴岡高専の教育ビジョン 発想の柔軟性と創造力、主体性と豊かな国際感覚を持った技術者育成

- ① 入口と出口の確保、学生生活の支援体制の充実
- ② 国際交流：一度は海外経験
- ③ 学生が主体的にうごく課題解決型教育・スタートアップ教育の充実
- ④ 学生の社会経験を支援→COOP教育、インターンシップ
- ⑤ 校務分掌の見直しによるスリム化と組織充実化
- ⑥ 宿直業務軽減に関するとりくみ

2. 実現のための具体策

① 入口と出口の確保、学生生活の充実

- ・志願者確保マーケティングWGによる入試分析と対策
 - 1日体験入学でのPRの工夫と参加者数と受験者数の相関
 - R5年度1.14倍、R6年度1.13倍……定員割れなし(県内公立校定員割れ多い)
- ・各コース長と担任指導
 - 就職6割、専攻科進学(1割強) & 編入学4割、企業研究セミナー開催(160社参加)
- ・保健センターの充実 **こころと体の健康調査**
 - 保健室 看護師2名(常勤、非常勤各1名)
 - 相談室 スクールカウンセラー2名(オンライン)に増員(平日相談できる体制)
 - スクールソーシャルワーカー2名
 - 特別支援教育士1名
 - 教育相談員1名
 - 精神科医1名
- ・スクールロイヤー1名(令和5年10月1日～令和6年3月31日までの業務契約)
- ・各種コンテストへの積極的参加と部活動による主体性の育成
 - NHKロボコン 地区大会特別賞と推薦で全国大会出場(9年ぶり)・特別賞受賞
 - GCON 全国大会出場FAINALIST
 - 全国高専デザインコンテスト、プログラミングコンテスト、など

I-2 学校運営の方針



NIT-Tsuruoka

第2回高専 GIRLS SDGs × Technology Contest(高専 GCON2023) 本選出場

女子学生を中心としたチームで日頃行っている研究や学習がSDGs観点からさまざまな社会課題に対してどう貢献できるか考えることにより、未来の研究者・技術者としてさらなる成長を促すコンテスト。

本選:2024年1月21日(日)13:00~18:00(東京 日経ホール)

本校からは「地域を繋げる課題解決型技術コーディネーター」が出場し、全国高専の中から選抜された12チームの一つとして本選に初出場を果たしました。

研究内容

テーマ:白鷹町の邪魔者ブラックバスで鶴岡市の月山高原ひまわり畑を復活！大作戦

内容:

鶴岡市の観光地「月山高原ひまわり畑」の肥料開発に向けて、白鷹町で釣り人から買い取ったブラックバスを魚粉肥料にする手法構築や、簡易土壌分析法開発について研究しました。



I-2 学校運営の方針



NIT - Tsuruoka



Fig. 山形県公立高等学校入学者選抜状況

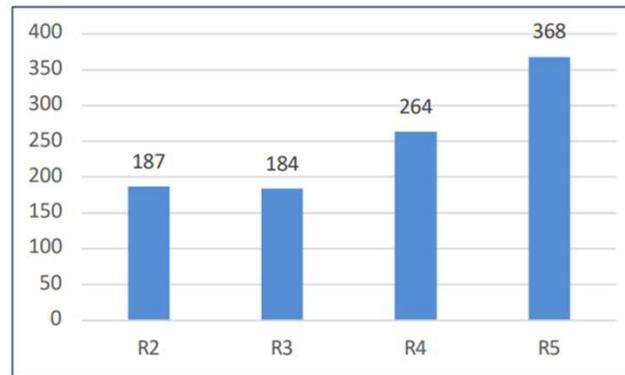


Fig. 中学生一日体験入学参加生徒数



Fig. 志願者推移（過去5年）

中学生一日体験入学と受験者数

入学年度 (入試年度)	体験入学(生徒)			体験入学参加学校数					受験	
	参加生徒数	内陸(内数)	前年比	参加学校数	内陸(内数)	庄内(内数)	県外(内数)	国外(内数)	受験者数	受験/体験
R4	184	48	▽3	58	32	22	4	0	163	88.6%
R5	264	71	80	71	41	21	9	0	182	68.9% 2回実施
R6	327	74	63	78	44	22	12	0	180	55.0% 2回実施

R6年度_地域別志願者数	
鶴岡市・三川町・庄内町	86
酒田市・遊佐町	45
村山地域	24
最上地域	8
置賜地域	10
県外(海外含む)	7

I-2 学校運営の方針



NIT -Tsuruoka

② 国際交流: 一度は海外経験

卒業生の海外勤務等用証明書発行記録
令和4年度 10件、令和5年度 12件

海外派遣等: 50名

- ・台湾の大学5名、トビタテ留学！JAPAN(USA1名、アイスランド1名)、タイ2名、インドネシア1名、シンガポール18名、台湾22名

海外からの受入れ: 学生5名、教員ら7名

- ・留学生受け入れ5名 フィンランド1名、フランス1名、タイ1名、台湾2名
- ・JICA国際協力事業 バングラデシュプロジェクト: バングラデシュ教員ら7名を受入れ、技術教育研修と本校学生達(本科4年生2名、本科5年生4名)との意見交換会

TOEIC、英会話

- ・TOEIC IP試験の実施・・・本科4年生、専攻科1年生は必須
令和5年度: 4回実施で2回は専攻科1年生必須、
1回は本科4年生必須、他は希望者
- ・英会話レッスン
夏季オンライン
英会話レッスン開催



TOEICスコアの平均点推移	
4年生	専1
2018年 355.5	425.0
2019年 343.4	408.8
2021年 345.6	388.5
2022年 363.8	479.1
2023年 382.5	436.5

↓ 高

I-2 学校運営の方針



NIT - Tsuruoka

③ 学生が主体的にうごく課題解決型教育・スタートアップ教育の充実 その1

- ・「モノづくり」の工学的センスを学生実験実習から学ぶと同時に、座学からも基本的なグループワーク・知的財産権・品質管理・経営工学を修得する。
- ・プレゼンテーションを繰り返しながらプライオリティーの考えを身につける。
- ・起業家精神(アントレプレナーシップ)育成に向けて、産学官の協力を得て取組を強化する。
- ・海外派遣や海外からの訪問者との意見交換会によって社会情勢を体験し、グローバル化を身につける。



I-2 学校運営の方針



その2

NIT - Tsuruoka

3学年総合工学IIIシラバス

4学年総合工学IVシラバス

専攻科2学年経営工学シラバス

鶴岡工業高等専門学校	開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	総合工学III
科目基礎情報				
科目番号	0036	科目区分	専門/必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	創造工学科(機械コース)	対象学年	3	
開設期	後期	週時数	後期:1	
教科書/教材	適宜プリント配布			
担当教員	荒船 博之, 高橋 聡, 大西 宏昌, 森永 隆志, 松橋 将太, 伊藤 卓朗			
到達目標				
1. エンジニアとして必要な素養を身に付ける(知的財産)。 2. グループディスカッションを行い、チームで効果よく成果を出す事が出来る。 3. アントレプレナーシップを理解し、起業モデルを検討する事が出来る。 4. D(デジタルトランスフォーメーション)など、高度情報化社会において目まぐるしく変化する社会の構造変化・技術発展を視野入れ、その上で起業モデルを検討することが出来る。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	工学の基礎となる知的財産を良く理解できる。	工学の基礎となる知的財産を理解できる。	工学の基礎となる知的財産を理解できない。	
評価項目2	グループディスカッションにて、自身の意見を論理的に述べる事ができる。	グループディスカッションにて、自身の意見を述べる事ができる。	グループディスカッションにて、自身の意見を述べる事ができない。	
評価項目3	現状を正確に把握し、独自のビジネスモデルを創出出来る。	現状を把握し、新しいビジネスモデルを創出出来る。	現状を正確に把握出来ず、ビジネスモデルを創出出来ない。	
学科の到達目標項目との関係				
(A)知識を統合し多面的な問題を解決する構想力を身につける。				
教育方法等				
概要	知的財産、起業、デジタル化社会におけるビジネスの変化など技術者として必要な素養を身につける。グループディスカッションを取り入れる事で、コミュニケーション力、発言力、思考力を総合的に育む。			
授業の進め方・方法	講義ならびにグループディスカッション、レポート提出を基本とする。			
注意点	この科目は学修単位科目のため、授業開講日だけでなく、実習期間を使い各グループでスケジュールを立てて自主的に進める事を第一に授業を要する。本講義は前学期後学期「オフィスアワー」・「AI教育プログラムの対象科目であることを留意して受講する事を勧める。【オフィスアワー】授業当日の12:00~12:45, 16:00~17:00			
事前・事後学習、オフィスアワー				
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業				
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
3rdQ	1週	ガイダンス・担当教員の自己紹介、シラバスの授業計画と評価の説明 情報リテラシー・Teamsにおける学習方法について情報セキュリティについて学ぶ	シラバスについて理解することができる。	
	2週	アントレプレナーシップ、起業家、経営者の講演を聴き、起業する意義や目的等について考える。	経営者の講演を聞き、企業に関する自分の意見や意見を表現することができる。 また、Society5.0におけるデジタル技術の重要性について考えることができる。	
	3週	アントレプレナーシップ、起業家、経営者の講演を素に、起業についてイメージする。	自身が起業する場合を想定し、アイデアを起業することができる。 また、Society5.0におけるデジタル技術の重要性について考えることができる。	
	4週	ビジネスプランを考える・チーム結成、アイデア提案	ビジネスプランを考える、各グループで出されたアイデアについて議論し、グループのアイデアとしてまとめる。	チーム結成、解決に向けたアイデアを出す事が出来る。
	5週	ビジネスプランを考える、各グループで出されたアイデアについて議論し、グループのアイデアとしてまとめる。	ビジネス、アイデアについて議論に参加し、メンバーの意見をまとめるための協働ができる。	
	6週	ビジネスプランを考える、アイデアの実現に向けて具体的な目標を設定し、進捗管理を行う。	収益の想定、対象者をペルソナに想定するなど具体的な実務計画を示すことができる。	
	7週	ビジネスプランを考える、アイデアを伝えるためのプレゼンテーション資料を作成する。	ビジネス、アイデアのプレゼンテーション資料を作成し、プレゼンテーションを実施する。	
	8週	ビジネスプラン 最終発表会・投票結果の上位8チームが4クラス、外部企業者に向けて発表を行う。	各グループで作成したビジネスプランについて説明(発表)する。	

鶴岡工業高等専門学校	開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	総合工学IV
科目基礎情報				
科目番号	0056	科目区分	専門/必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	創造工学科(化学・生物コース)	対象学年	4	
開設期	通年	週時数	2	
教科書/教材	適宜プリント配布			
担当教員	荒船 博之, 大西 宏昌, 高橋 聡, 森永 隆志, 松橋 将太, 伊藤 卓朗			
到達目標				
1. エンジニアとして必要な素養を身に付ける。 2. コミュニケーションについて学び、チームで効果よく成果を出す事が出来る。 3. 知的財産を理解し、特許を作成する事が出来る。 4. デジタルトランスフォーメーション(DT)の活用において、働き方やモノづくり技術にどのような変化が生じているかを企業へのインタビューを通じて理解する。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	工学に必要な知識を良く理解できる。	工学に必要な知識を理解できる。	工学に必要な知識を良く理解できない。	
評価項目2	グループディスカッションにて、自身の意見を論理的に述べる事ができる。	グループディスカッションにて、自身の意見を述べる事ができる。	グループディスカッションにて、自身の意見を述べる事ができない。	
評価項目3	独自のアイデアを創出し、それに関する特許を書く事ができる。	新しいアイデアを創出し、それに関する特許を書く事ができる。	アイデアを創出し、それに関する特許を書く事ができない。	
学科の到達目標項目との関係				
(A)知識を統合し多面的な問題を解決する構想力を身につける。				
教育方法等				
概要	特許権の権利、知的財産、起業、キャリアプラン、デジタル化社会におけるモノづくり環境の変化など、技術者として必要な素養を身につける。【2学年】とのグループワークを通してファシリテーションを学ぶ事で、コミュニケーション力、主体性、創造力を総合的に育む。			
授業の進め方・方法	教材配布による遠隔講義ならびにグループディスカッション、レポート提出を基本とする。			
注意点	シラバス表の到達目標に沿って総合的に評価し60点以上を合格とする。			
事前・事後学習、オフィスアワー				
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業				
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
1stQ	1週	ガイダンス	担当教員の自己紹介、シラバスの見方、授業の目標、進め方、評価の仕方、専任を伝える。	
	2週	情報リテラシー	Teamsにおける学習方法について、情報リテラシー、セキュリティについて学ぶ。	
	3週	適性検査1	自分の強み・弱みを知り、自分から自己PRづくりを始める。	
	4週	パテントコンテスト1	新しいアイデアを創出し、特許を作成する。	
	5週	パテントコンテスト2	新しいアイデアを創出し、特許を作成する。	
	6週	パテントコンテスト3	新しいアイデアを創出し、特許を作成する。	
前期	7週	キャリアプラン1	デジタル化社会における働き方やモノづくりの変化など自身の興味・希望進路からテーマを選定し、企業研究を行う。PR資料の作成を通して、今後のキャリアについて具体的な目標設定が出来る。	
	8週	キャリアプラン2	デジタル化社会における働き方やモノづくりの変化など自身の興味・希望進路からテーマを選定し、企業研究を行う。PR資料の作成を通して、今後のキャリアについて具体的な目標設定が出来る。	
	9週	キャリアプラン3	デジタル化社会における働き方やモノづくりの変化など自身の興味・希望進路からテーマを選定し、企業研究を行う。PR資料の作成を通して、今後のキャリアについて具体的な目標設定が出来る。	
	10週	キャリアプラン4	デジタル化社会における働き方やモノづくりの変化など自身の興味・希望進路からテーマを選定し、企業研究を行う。PR資料の作成を通して、今後のキャリアについて具体的な目標設定が出来る。	
	11週	キャリアプラン5	デジタル化社会における働き方やモノづくりの変化など自身の興味・希望進路からテーマを選定し、企業研究を行う。PR資料の作成を通して、今後のキャリアについて具体的な目標設定が出来る。	
	12週	キャリアプラン6	デジタル化社会における働き方やモノづくりの変化など自身の興味・希望進路からテーマを選定し、企業研究を行う。PR資料の作成を通して、今後のキャリアについて具体的な目標設定が出来る。	

鶴岡工業高等専門学校	開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	経営工学
科目基礎情報				
科目番号	0070	科目区分	専門/必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	専攻科一般科目・共通専門科目	対象学年	専2	
開設期	前期	週時数	2	
教科書/教材	基礎から学ぶ品質工学 小野元久(編著) 日本規格協会・T0-Beエンジニア検定公式テキスト 品質管理基礎、T0-Beエンジニア検定企画委員会(編著) 奥原 正夫(著)、工学研究社			
担当教員	神田 和也, 齋藤 誠			
到達目標				
1. 品質マネジメントシステムについて理解でき、自己の就業先をイメージし提案できる。 2. 品質工学を理解でき、研究など具体的事例に応用できる。 3. 経営に關する基礎知識を修得し、グローバル経済に向けて、企業と取り巻く環境と望まれる人材について理解できる。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	品質マネジメントシステムについて理解でき、自己の就業先をイメージし提案できる。	品質マネジメントシステムについて理解できる。	品質マネジメントシステムについて理解できない。	
評価項目2	品質工学を理解でき、研究など具体的事例に応用できる。	品質工学を理解できる。	品質工学を理解できない。	
評価項目3	IE, VE, トヨタ生産方式について理解でき、具体的事例について応用できる。	IE, VE, トヨタ生産方式について理解できる。	IE, VE, トヨタ生産方式について理解できない。	
評価項目4	企業戦略、組織、人事、マーケティング、流通、財務、会計などについて応用できる。	企業戦略、組織、人事、マーケティング、流通、財務、会計などについて理解できる。	企業戦略、組織、人事、マーケティング、流通、財務、会計などについて理解できない。	
学科の到達目標項目との関係				
③専門分野に加えて基礎工学をしっかりと身につけた生産技術に関する幅広い対応力				
教育方法等				
概要	経営工学 特に製品開発分野では品質は最も重要な概念となる。本講義ではモノづくり製造業に関わる品質管理技術と実践的手法である品質工学を取り上げる。品質管理技術の講義では英語による講義を併用し、品質工学では実践的手法であるパラメータ設計(ロバスト設計)とM.T法(多変量解析)について学ぶ。またIE, VE, トヨタ生産方式の基礎や企業戦略、組織、人事、マーケティング、流通、財務、会計などについて理解できる。			
授業の進め方・方法	基本講義が主体で、レポート提出を義務づける。この科目は、生産工学はじめ経営工学全般について担当している教員が、実務経験を活かして講義形式で授業を行うものである。			
注意点	学習内容を修得するには、自ら能動的に問題を解くことが必要となる。自宅でも演習問題などを十分に解くこと。【オフィスアワー】授業当日の12:00~12:45, 16:00~17:00			
事前・事後学習、オフィスアワー				
【オフィスアワー】授業当日の12:00~12:45, 16:00~17:00 この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習としてレポートやオンラインテストを実施します。				
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業				
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1週	品質管理の概要	経営工学の概要とそその中の品質管理・品質工学の位置づけ 品質管理について、目的と意義、歴史的背景を理解する。	
	2週	品質管理の応用 品質工学の概要	統計的品質管理の基礎的手法とQCの考え方を理解し、QCストーリーに理解できる。品質工学の概要を理解できる。	
	3週	品質工学	機能性評価を理解し、パラメータ設計へ応用できる。	
	4週	品質管理(Quality Control)	箇条表を使った実験計画ができる。 MTシステムの基礎を理解できる。	
	5週	品質工学	MTシステムの7法(1)を使い、特性値の予測ができるようになる。	
	6週	前期中間試験	パラメータ設計手法の事例問題を解くことができる。	
	7週	生産工学(IE)	事業システムの設計や変更、評価に關して、教員の技術力を活用した分野、つまり工学的な操作を行った分野である生産工学について理解できる。	
	8週	価値工学(VE)	製品やサービスの「価値」を、それが果たすべき「機能」とそのためにかかる「コスト」との関係で把握し、システム化された手順によって「価値」の向上をはかる手法であるVEを理解できる。	
	9週	トヨタ生産方式	トヨタ生産方式と呼ばれる業務改善システムを理解できる。	
	10週	経営戦略	企業経営戦略について各種理論や戦略などを理解できる。 企業経営戦略の重要性について理解できる。	

- 令和6年度大学・高専機能強化支援事業（支援2:高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）【高等専門学校】申請による学科改組

2030年には先端IT人材が54.5万人不足

成長分野をけん引する高度人材の育成、
輩出を担う大学及び高等専門学校の機能
強化



本校の取り組み:

創造工学科のもとに4コース制が従来の教育体制であったが、DX人材の不足に対する対策として、全コースの専門分野で活躍するDX人材の育成に向けて学科改組を検討



I-2 学校運営の方針



NIT - Tsuruoka

- ④ 学生の社会経験を支援
COOP教育、インターンシップ、工場見学旅行(4年生)
 - 技術開発能力を育てる就業経験学習
 - 3学年から長期休暇を利用し、就業経験

 工場見学旅行(4年生)

主に関東地区へ

3泊4日、
現地集合、
現地解散



普段は
見ることができない
各種企業の工場を見学

※令和4年度は新型コロナウイルスの影響により中止

11



COOP教育発表会—2



COOP教育発表会—1

⑤ 校務分掌の見直しによるスリム化と組織充実化

- スクラップ&ビルド:校務分掌の委員会の数が増え、会議の数も多いことからスリム化して、教職員が動きやすい環境を目指した
 - 【委員会数の縮減(38→30)・委員数の縮減(359→295)活用されていない規則の破棄
- 教職員の学寮宿日直業務の負担軽減をはかるため、業務の一部外注を検討。
- 令和6年度大学・高専機能強化支援事業(支援2:高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【高等専門学校】申請
- グローバル人材育成事業への申請

(参考)令和5年度のその他取組例

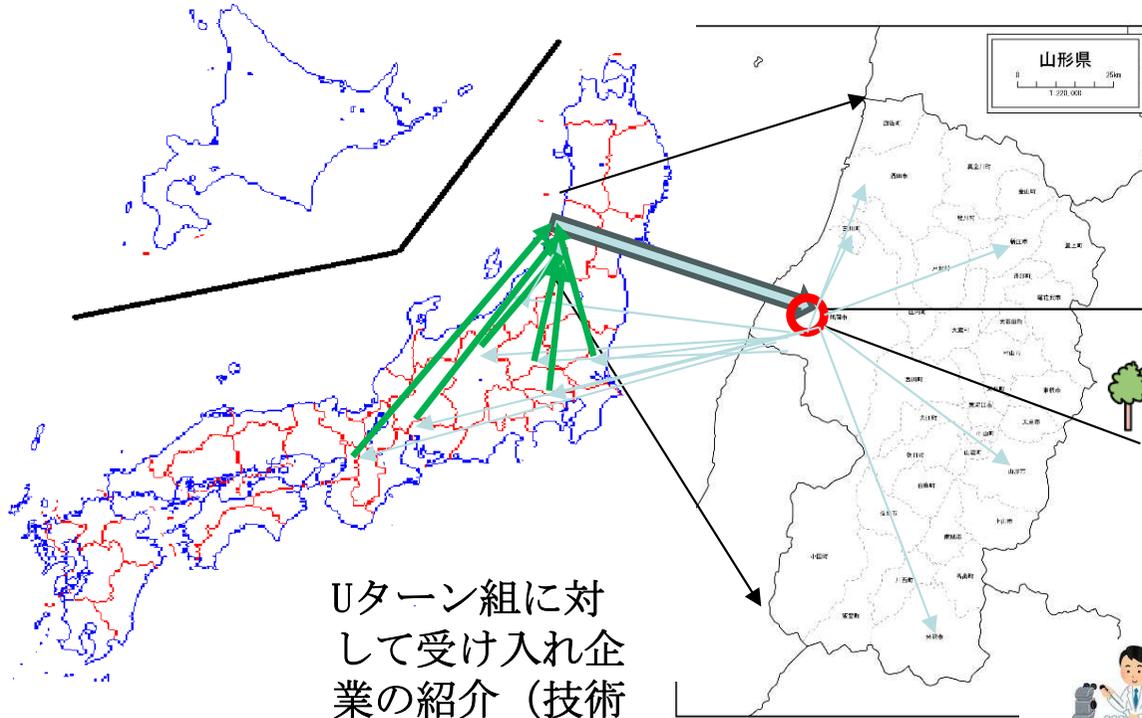
- 60周年記念行事を開催
- 卒業生向けのU-ターン就職向上プロジェクト

I-2 学校運営の方針



NIT - Tsuruoka

高専卒の若い技術者のU-ターンをサポート



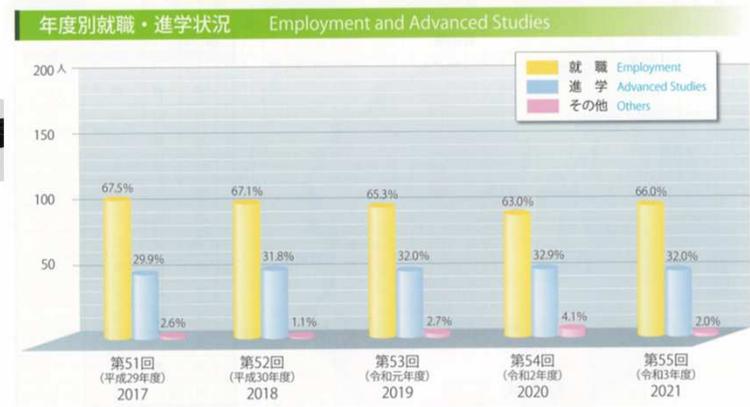
Uターン組に対して受け入れ企業の紹介（技術振興会との連携）

地域社会: 小・中学校との連携で高度設備を使った実習型出前講義と操作によるサイエンス・テクノロジー啓蒙活動
 地域産業: 共創的共同研究、リカレント教育
 海外進出企業との連携



鶴岡高専

本校の特色の強化:
 ・卒業研究・特別研究を通して学生にAI、DX、IoT技術を使った先端技術者の育成
 ・高専間の高度設備の共同利用・共同研究による活性化
 ・海外の高専・大学とのグローバル連携の強化



目次



NIT -Tsuruoka

I 学校運営の方針

- 1 校訓・基本教育目標
- 2 令和5年度学校運営方針

II 校長としての所感

III 令和5年度の具体的活動の状況

- 1 教育活動 → 教務主事
- 2 研究活動 → 地域連携センター長
- 3 地域連携活動 → 地域連携センター長
- 4 学生の活躍 → 教務主事・学生主事
- 5 学生の確保・進路 → 学生主事
- 6 学生寮での生活 → 寮務主事

Ⅲ 校長としての所感



NIT -Tsuruoka

- コロナ・インフルエンザ感染への対応は教職員の連携によって部分的休講で対応ができています。
- 研究・地域連携活動については、教員間で温度差はあるものの総合的には高い。学生の研究レベルも高い。
- 教育活動については、デジタル人材育成の機能強化に向けてカリキュラムの戦略的改善に着手した。
- 志願者確保は1.13倍と昨年度並みであったが、引き続き危機意識をもって志願者増に向けて取組みたい。
- 地域活性を目指して本校－山大農－東北公益大－荘内銀行による4学金連携を締結した。
- 県内の若者人口減の改善対策の一つとして卒業生のU-ターン希望者に情報提供を技術振興会と連携して実施見込みが立った。



目次



NIT - Tsuruoka

I 学校運営の方針

- 1 校訓・基本教育目標
- 2 令和5年度学校運営方針

II 校長としての所感

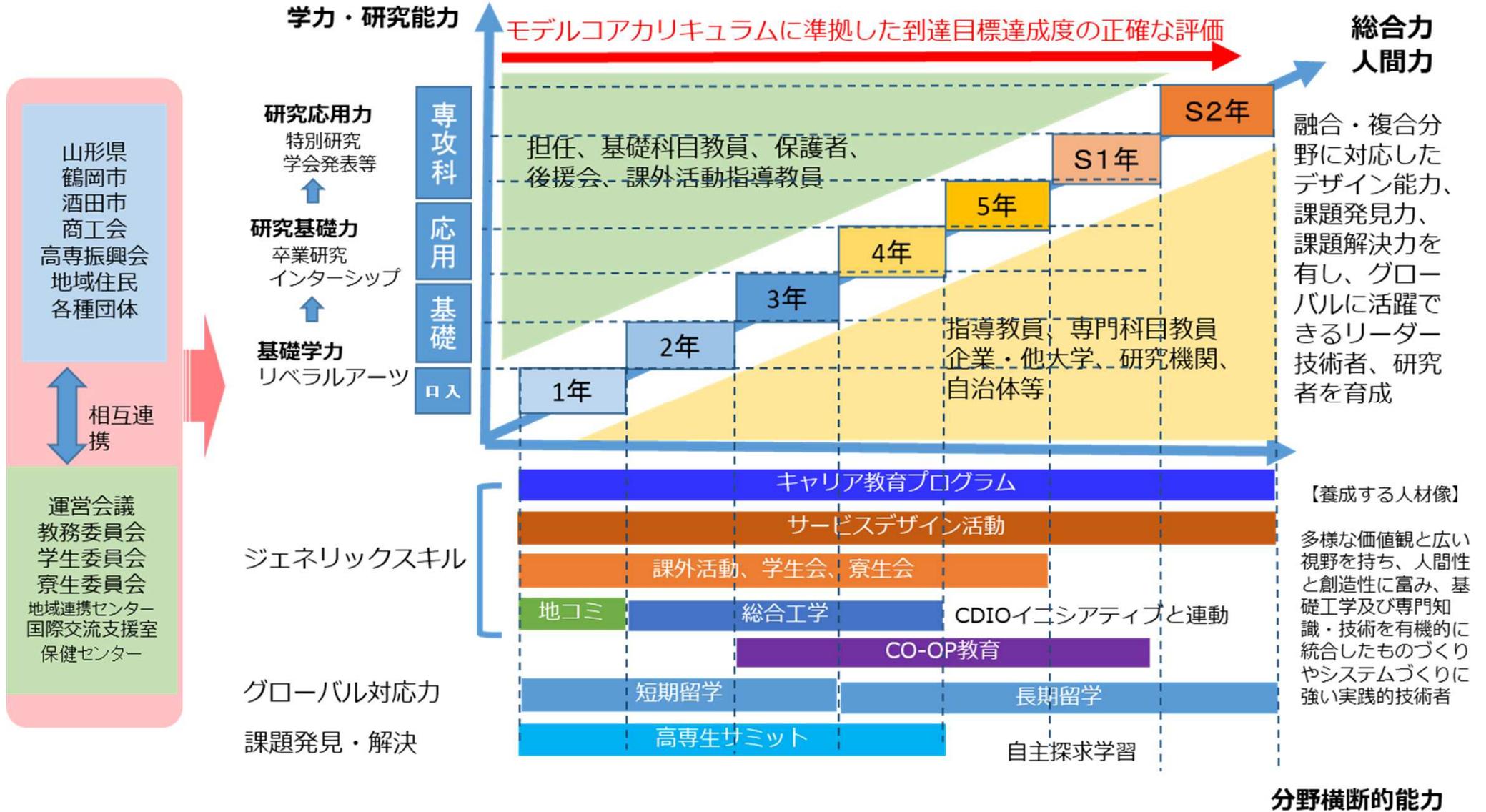
III 令和5年度の具体的活動の状況

- 1 教育活動 → 教務主事
- 2 研究活動 → 地域連携センター長
- 3 地域連携活動 → 地域連携センター長
- 4 学生の活躍 → 学生主事
- 5 学生の確保・進路 → 教務主事・学生主事
- 6 学生寮での生活 → 寮務主事

Ⅲ - 1 教育活動



NIT - Tsuruoka

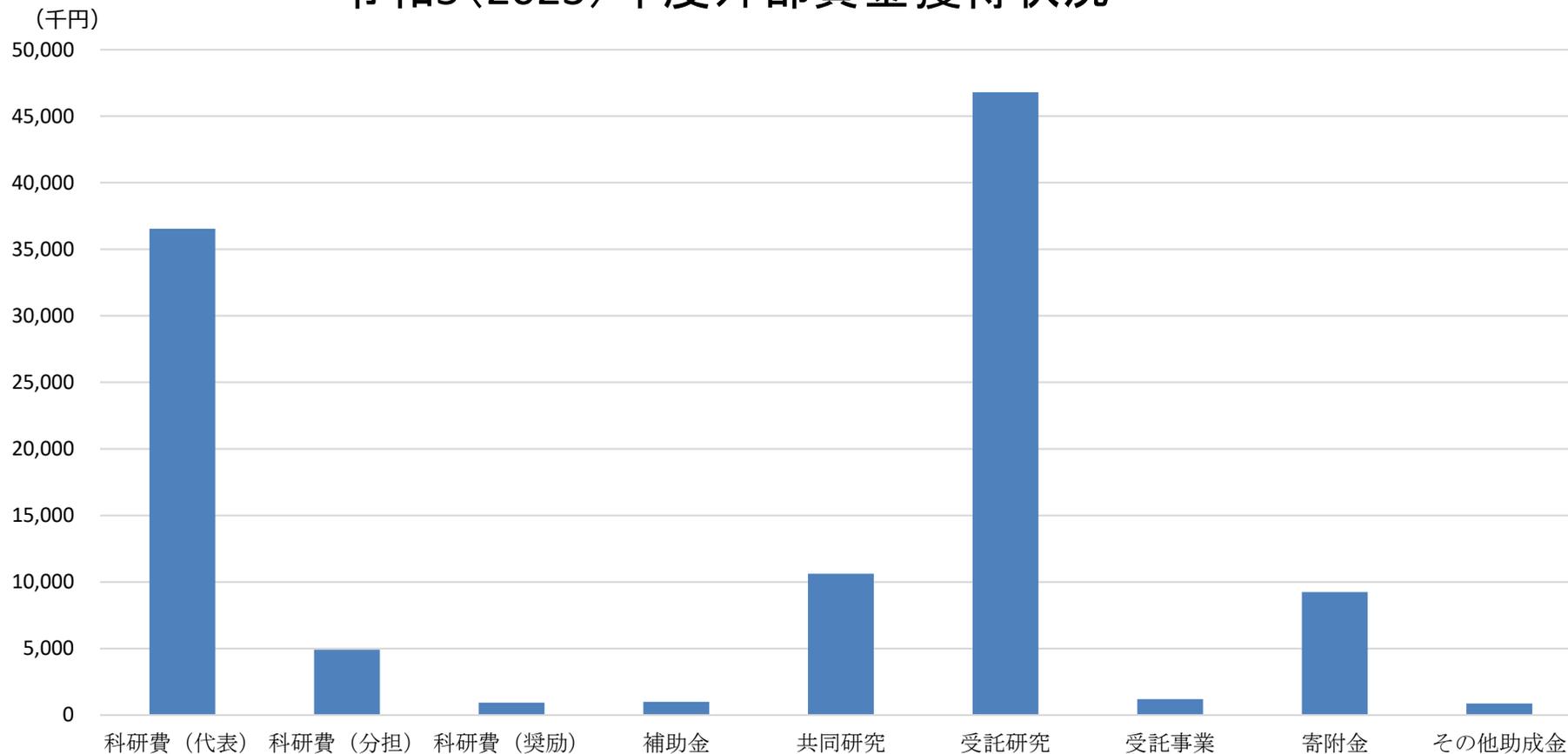


Ⅲ-2 研究活動



NIT - Tsuruoka

令和5(2023)年度外部資金獲得状況



	科研費(代表)		科研費(分担)		科研費(奨励)		補助金		共同研究		受託研究		受託事業		寄附金		その他助成金		(千円)
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	合計
合計	15	36,539	7	4,914	2	940	3	1,000	22	10,624	12	46,800	1	1,204	19	9,245	3	880	112,146

※ 金額は直接経費+間接経費の計とする。

Ⅲ-2 研究活動



NIT - Tsuruoka

3月11日(月)、鶴岡市先端研究産業支援センター 大会議室(共用棟1階)にて「**K-ARCシンポジウム 2023**」を開催予定。

主催：国立高等機構鶴岡工業高等専門学校
共催：K-ARC拠点化推進協議会
GEAR5.0 マテリアル 鶴岡
後援：鶴岡市

鶴岡工業高等専門学校
創立60周年記念事業

K-ARCシンポジウム 2023

～未来を拓く最先端材料科学～ **参加費無料**

2024年3月11日(月) 13:30～17:00
鶴岡市先端研究産業支援センター 大会議室(共用棟1階)
定員：70名 ※当日参加も可
申込締切：3月6日(水)

研究事例紹介

- 13:40～ 『K-ARCの活動について』
鶴岡工業高等専門学校 地域連携センターK-ARC部門長 伊藤 卓船
- 13:50～ 『ユーザの活動空間に基づくユーザ毎に適した熱中症予防システム』
鶴岡工業高等専門学校 創造工学科 情報コース 准教授 金 帝演
- 14:10～ 『SRTマテリアルが拓く未来技術』
鶴岡工業高等専門学校 創造工学科 機械コース 准教授 荒船 博之

15:00～招待講演

『イオン液体構造を有するイオノマー添加が燃料電池特性に与える影響』
日清紡ホールディングス株式会社
新規事業開発本部 開発室 沓澤 結菜 氏

16:00～基調講演

『3DプリンティングとAIが拓く物質通信の未来』
国立大学法人山形大学大学院 理工学研究科
教授 古川 英光 氏

お問合せ
お申込み

鶴岡工業高等専門学校 総務課企画・連携係
TEL: 0235-25-9453 FAX: 0235-24-1840
E-mail: kikaku@tsuruoka-nct.ac.jp

※お申込みいただく際は、裏面の申込書をお送りいただくか
申込書記載事項をお電話またはメールにてお知らせ下さい。



昨年度の講演の様子

Ⅲ－3 地域連携活動



NIT - Tsuruoka

- **専攻科1年生企業合同研究発表会**

→2024年1月19日（金）本校8号館にて開催
研究発表では、学生がポスターセッション形式で自身の研究を説明。教員や企業の方からの質問にも丁寧に答えていました。



- **COOP教育発表会** 企業の方からは、学生の成果報告に対して貴重なコメントをいただきました。



COOP教育発表会



課外活動 受賞等

【ロボコン全国大会】特別賞受賞

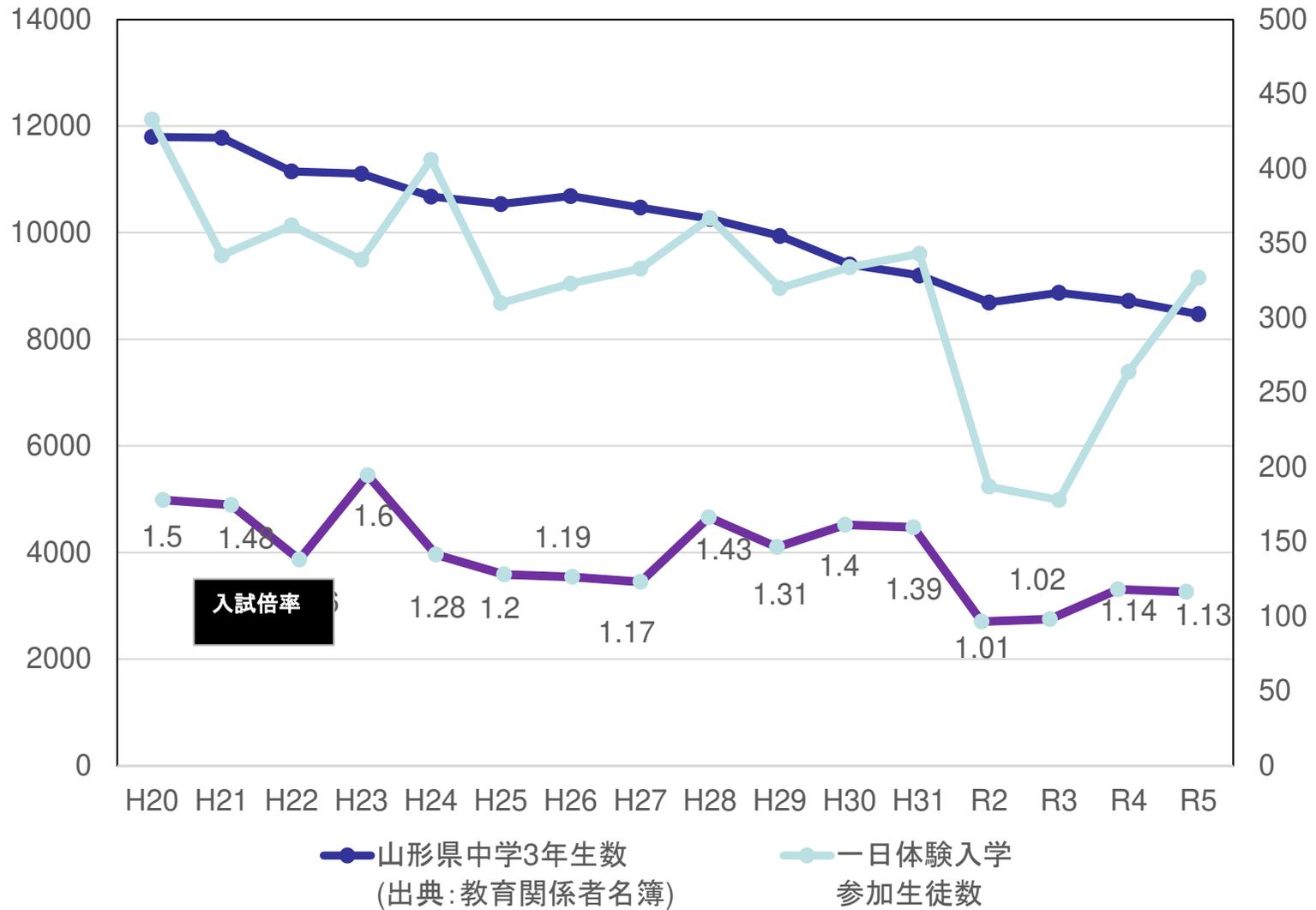
- ・令和5年10月8日(日)に開催された「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2023東北地区大会」において、本校Aチーム「かっとび君」が全国大会の出場権を獲得
- ・9年ぶりの出場となった全国大会において、マブチモーター株式会社特別賞を受賞



Ⅲ-5 学生の確保・進路



NIT -Tsuruoka



Ⅲ-5 学生の確保・進路



NIT - Tsuruoka

・令和5年度の進路指導・キャリア教育の実績と予定

令和5年度卒業予定者にかかるスケジュールについて(担任・学生用)

日付	就職	進学	内容	備考(会場等)	
令和4年					
12/7 (水)	7・8校時	○	○	進路ガイダンス、進路志望調査書配付・誓書・求職調査票配付(専攻科1年)	視聴覚室 (全 員)
12/10(土)~12/11(日)		○		高専生のための仕事研究&インターンシップフェア(マイナビ)	WEB開催 (希望者のみ)
12/17 (土)		○		高専生のための業界研究セミナー(学研教育みらい)	仙台市 (希望者のみ)
令和5年					
1/4 (水)		○		求人票公開開始・専攻科生就職活動開始	(全 員)
1/12 (木)		○		キャリアカウンセラーによるセミナー(履歴書・エントリーシート作成指導)	合同講義室 (希望者のみ)
1/13 (金)		○		〃 (面接やグループディスカッション指導)	合同講義室 (希望者のみ)
1/13 (金)		○	○	進路志望調査書提出期限、誓書・求職調査票指導教員に提出(専攻科1年)	(全 員)
1/17 (火)		○		キャリアカウンセラーによるセミナー(1/12と同様の内容)	合同講義室 (希望者のみ)
1/20 (金)		○		〃 (1/13と同様の内容)	合同講義室 (希望者のみ)
1/21 (土)		○		東北地区高専生のための仕事研究セミナー(メディア総研)	仙台市 (希望者のみ)
2/4 (土)		○		鶴岡高専企業研究セミナー<午前:県内企業、午後:県外企業>	7・8号館 (全 員)
3/1 (水)		○		誓書・求職調査票配付(本科4年)	(全 員)
4月始業日		○		本科生就職活動開始・誓書・求職調査票指導教員に提出(本科5年)	(全 員)
4月 上旬		○	○	進路調査	(全 員)
4月 上旬			○	進学ガイダンス	合同講義室 (進学希望者全員)
4月 中旬		○	○	保護者懇談会	(全 員)



は学外でのイベント

Ⅲ - 6 学生寮での生活



NIT - Tsuruoka

新たな国際寮の設置

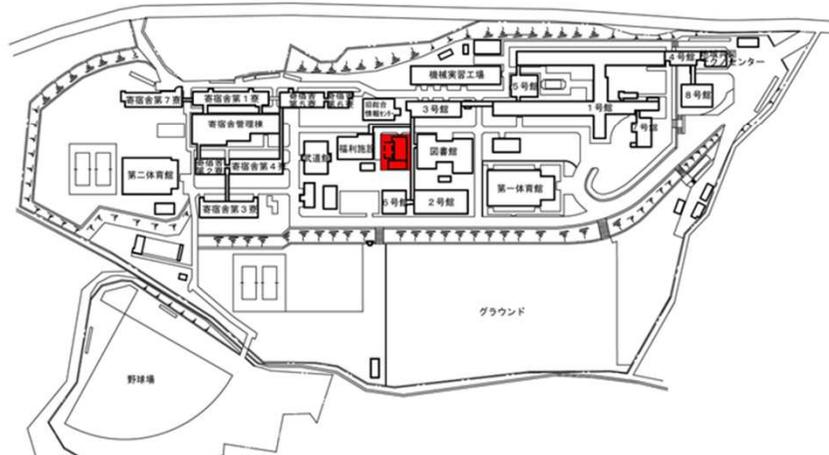
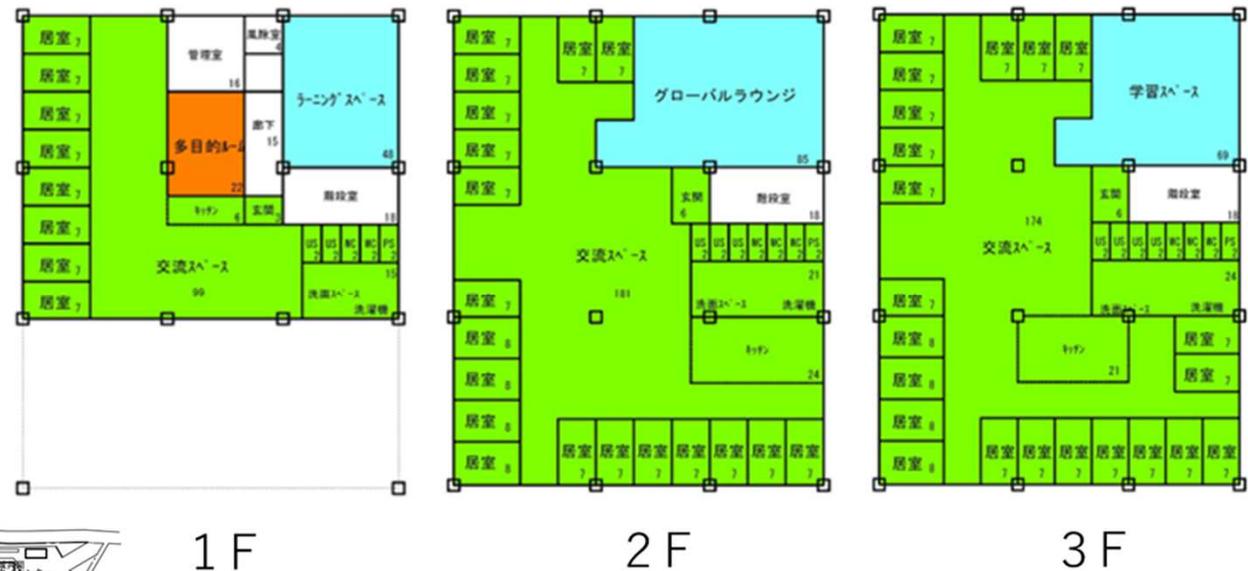
本校において寄宿舎は最重要施設

- ◆公共交通機関が不十分で自宅から通えない学生が多数
→入寮者希望者が多く、全学生の50%超が入寮
- ◆多くの保護者・学生が受験に際し、寄宿舎の有無を考慮、入寮を検討 → 入試倍率、学生確保に大きな影響
- ◆国際交流推進に必要不可欠

寄宿舎の現状及び課題

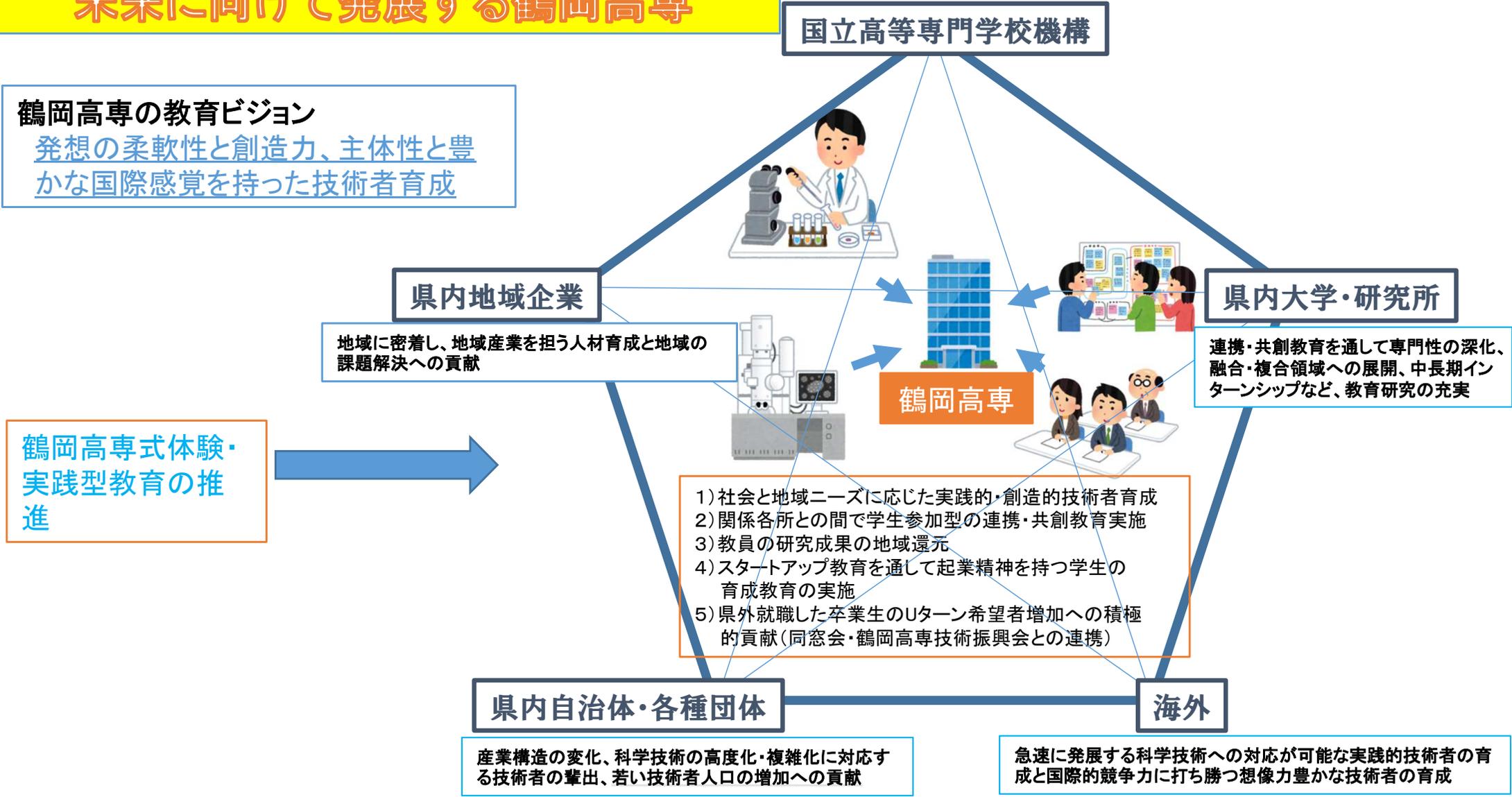
- ◆日本人学生用の居室不足
 - ・定員数を上回る入寮希望者数
- ◆留学生用の居室不足
 - ・居室不足により留学生を受け入れられない状況
 - ・混住型としたいが、既存建物改修では構造的に難しい
- ◆留学生が快適に過ごせていない
 - ・宗教や生活習慣に配慮した設備の不足
 - ・留学生にも、日本人学生と同様に厳格な門限や点呼を強いており、非常に窮屈な思いをさせている
- ◆建物老朽化
 - ・新築・改修後、30年超で経年劣化が激しい

<混住型学生寮 平面プラン イメージ>



61周年を迎えた鶴岡高専

未来に向けて発展する鶴岡高専





資料 3

【教務関連事項について】

教務主事・総務主事 佐藤司

1. 入学志願者の確保に向けた対策
2. 進路(進学、編入学)状況
3. 国際交流事業
4. スタートアップ教育環境整備事業
5. 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化



1. 入学志願者の確保に向けた対策



NIT - Tsuruoka

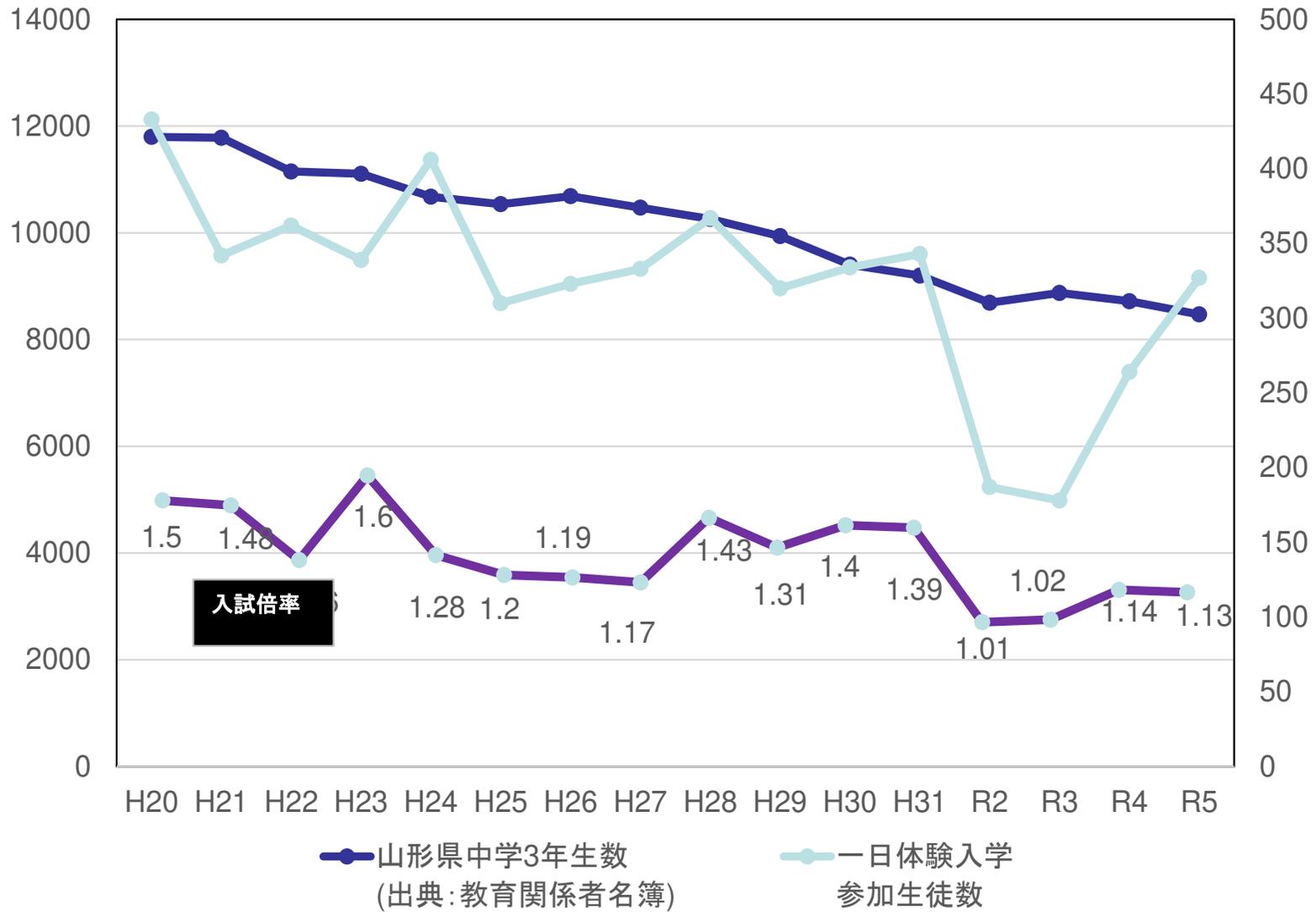
校長、副校長、志願者確保MT、情報広報室長、地域連携センター長、その他必要と認める教職員を含め総合的な取り組みを展開

- ・中学校訪問(県内84校、県外49校)
- ・入試説明会／学校説明会(鶴岡、酒田、山形、新庄、米沢)
- ・YouTube動画、公式Twitterの配信
- ・中学校への配布資料(College Profile 学生の様子や寮生活の様子、入試問題集)
- ・校長の中学校訪問
- ・中学生1日体験入学の年2回開催(参加生徒数は延327名保護者含めて698名、学寮ツアー実施)
- ・科学フェスタ実施

入試倍率の推移



NIT - Tsuruoka



2. 進路(進学、編入学)状況(令和6年1月9日現在)



NIT - Tsuruoka

専攻科進学

鶴岡工業高等専門学校 専攻科

大学編入学

長岡技術科学大学
豊橋技術科学大学
北見工業大学
東北大学
秋田大学
岩手大学
東京農工大学
千葉大学
群馬大学
電気通信大学
新潟大学
山梨大学
信州大学

専攻科から大学院入学

豊橋技術科学大学大学院
北海道大学大学院
東京工業大学大学院
北陸先端科学技術大学院大学

専攻科進学 18名
大学編入学 34名
大学院進学 4名
計56名



◆進学ガイダンス（年1回）

令和5年4月10日（月）11:00-12:00（視聴覚室）

- 趣旨：進学を希望する本科5年生・専攻科2年生を対象に、出願手続き・近年の進学状況・専攻科について等の情報を提供し、進学先選択の参考にしてもらう。
- 説明者：教務主事、専攻科長、教務係

◆進路指導（年3回）

- 趣旨：進路選択を間近に控えた本科4年生・専攻科1年生に対し、進学及び就職に関する情報を提供し進路選択に対する意識を高めてもらう。
- 説明者：進路の選択について 教務主事、専攻科進学について 専攻科長、就職斡旋の方針について 進路指導委員長

◆大学個別説明会（各会60～90分程度）

- R5実績：豊橋技科大学・大学院 12月4日（月）3名参加、オンライン
- 東京工業大学・大学院 12月11日（木）1名参加、対面
- 長岡技科大学・大学院 1月15日（月）13名参加、対面
- 東京電機大学・大学院 1月18日（木）5名程度参加、対面



3. 国際交流事業



NIT - Tsuruoka

(1) JICA国際協力事業 バングラデシュ プロジェクト本邦研修受入

令和5年11月13日(月)～17日(金)

本校にてバングラデシュ教員ら7名を受入し、技術教育研修を実施。

当該研修は、2019年より5か年計画で、本校教員が参画するJICA(国際協力機構)との国際協力事業の一環。本校教員が、高専の教育手法を用いた技術教育改善、実習能力強化を支援している。

学生達との意見交換の様子(本科4年生2名、本科5年生4名が参加)

バングラデシュでの教育や特色、長期休みなどについて質問があり、バングラデシュ教員からは高専や現在の専攻を選んだ理由、企業でのインターンシップについて質問が上がりました。互いの国の教育や学生生活について、有意義な情報交換の機会となりました。また、研修中に実施された各コースの研究室見学の際も、多くの学生が案内を担当し、バングラデシュ教員からの質問にも熱心に答えていました。バングラデシュ教員らは、学生のしっかりとした案内に感心した様子でした。短い時間でしたが、本校学生にとっても研究を通した国際交流の機会であり、他国の教育を知る貴重な体験となりました。



本校HPより引用

3. 国際交流事業



NIT -Tsuruoka

(2) タイ王国との交流事業（2023年度実績）

◆短期留学生の受入と派遣

KMITL（キングモンクット工科大学）1名 5月～7月

KMITL（キングモンクット工科大学）専攻科1年生2名 2月～3月

なお、2024年度はKMITLより編入学生（長期留学生）を1名受入予定

◆協定校教員の表敬訪問 ラジャマンガラ工科大学 5名 5月

→2024年度5月 協定更新予定

4. スタートアップ教育環境整備事業



(令和4年度補正予算 108,000千円)

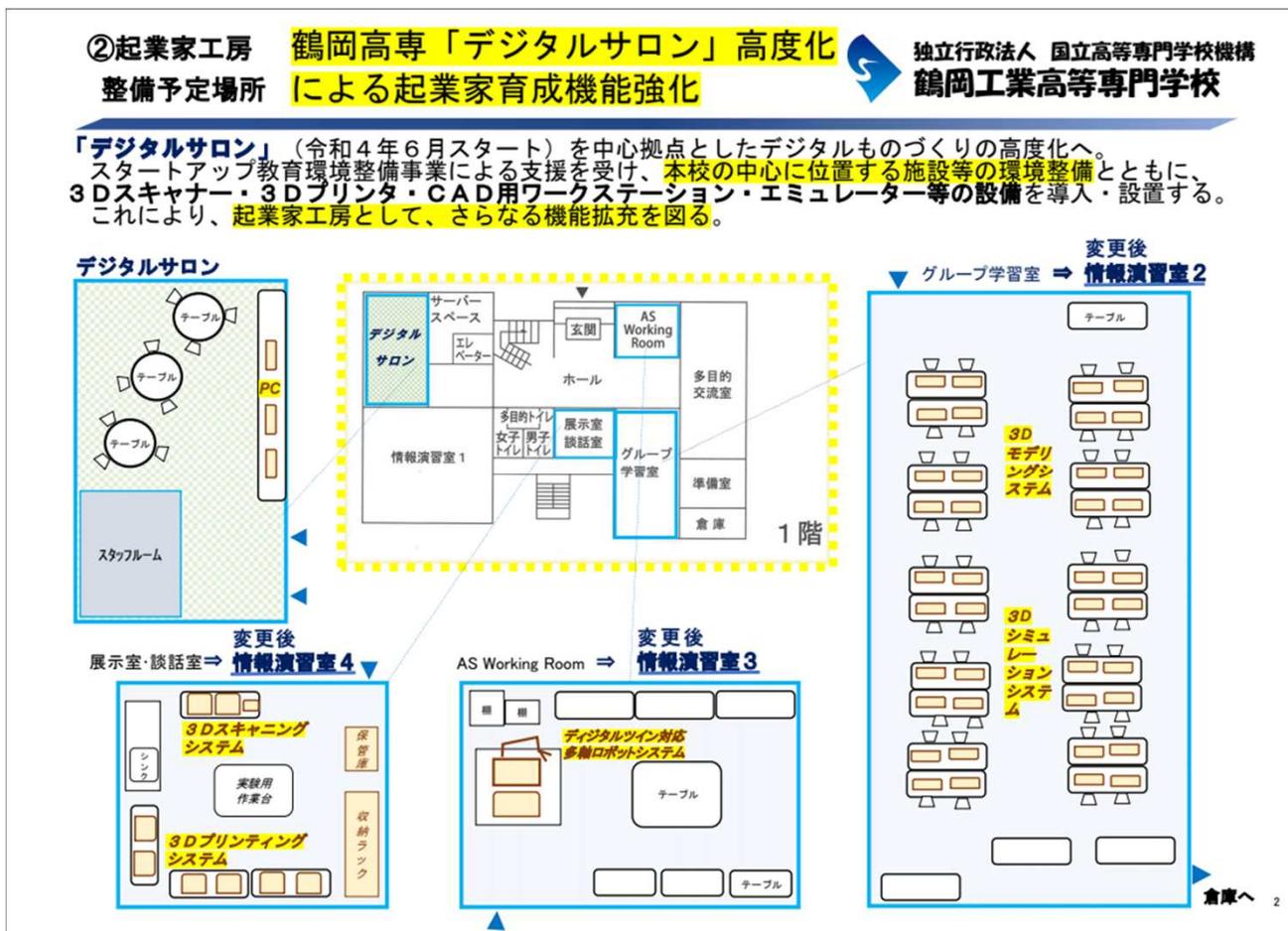
NIT -Tsuruoka

本校情報人材の学修スペース「デジタルサロン」の高度化による起業家育成機能強化および地域に貢献できるスタートアップ人材の輩出

3Dスキャナー・3Dプリンター・CAD用ワークステーション・エミュレーターなどの設備を導入

授業を通じて、アイデアからモノづくり、そして社会実装へ、一貫した過程の実現へ

※鶴岡高専の特徴的カリキュラム「総合工学I～IV」(1～4年生)等のカリキュラムにおいて学生からの様々なデジタル技術を生かしたアイデア創出



5. 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化(文科省事業)

※申請中



NIT - Tsuruoka

成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援 (R7年度入学生から開始を目指し文科省へ申請)

(高専1校当たり) 最大 100,000千円×10年 = 1,000,000千円)

- ・高度情報専門人材の確保に向けた機能強化支援
- ・高等専門学校における情報系学科・コースの新設・拡充に必要な経費支援

実施に向けた申請計画

- 全ての専門コースで高度情報専門教育(数理・AI・データサイエンス)を実施できるカリキュラム整備
- 高度情報人材輩出の拡充を図る体制整備
- 少人数教育、外部人材の活用、地域企業・高等教育機関との連携





資料4-1

【学生関連事項について】

学生主事 瀬川 透





学習環境及び学生支援等



- 週間予定や学内行事の様態などを投稿

← 鶴岡工業高等専門学校【公式】
6件のツイート



フォロー

鶴岡工業高等専門学校【公式】

@tsuruoka_kosen

鶴岡高専公式アカウントです。

鶴岡高専ソーシャルメディア運用ポリシーに基づき運用しております。

tsuruoka-nct.ac.jp/compliance/sns...

お問い合わせは、本校Webからお問い合わせください。

#鶴岡高専

〒997-8511 山形県鶴岡市井岡沢田104 tsuruoka-nct.ac.jp

2022年5月からTwitterを利用しています

- 「みんなの高専チャンネル」(登録者数:1.35万人)から、一日体験入学で取材いただき、その模様をYouTubeで公開中(再生回数:約6400回)
<https://www.youtube.com/watch?v=sFiB4HXGAFI>



● 今年度の受入れ実績

- フィンランド(トゥルク応用科学大学) 2023年4月～2023年7月 1名
- フランス(ランス技術短期大学) 2023年4月～2023年7月 1名
- タイ(キングモンクット工科大学ラカバン校) 2023年5月～7月 1名
- 台湾(長庚大学) 2023年7月～8月 2名

● 今年度の派遣実績

- 台湾(国立聯合大学) 2023年7月31日～9月1日 3名
- 台湾(長庚大学) 2023年7月31日～9月1日 2名
- アメリカ(トビタテ高校生コース) 2023年7月30日～8月29日 1名
- アイスランド(トビタテ高校生コース) 2023年7月31日～8月19日 1名
- タイ(キングモンクット工科大学ラカバン校) 2024年2月11日～3月17日 2名
- インドネシア(ガジャマダ大学) 2024年2月27日～3月18日 1名

【団体】

- シンガポール(テマセク・ポリテクニク) 2024年3月2日～3月17日 18名
- 台湾(長庚大学/企業訪問) 2024年3月6日～3月10日 22名

- ・ 学校生活全般についての指導
- ・ 校内および学校周辺の巡回（年二回実施）
- ・ 交通安全指導
 - 自転車・バイク車体検査（4月）
 - 街頭指導（4月、10月）、交通講話（4月）
- ・ 山形県警察本部 サイバースキル講座（4月）
- ・ 鶴岡警察署 生活指導講演会（6月）
- ・ いじめアンケートの実施（5月、7月、10月、12月）
- ・ スクールロイヤール講演会（1月） 1年生、3年生
- ・ 問題行動等への速やかに対策（リスク管理室）

令和5年度本科求人倍率	()内は令和4年度の数字	
機械コース	12.7倍	(9.9倍)
電気・電子コース	11.7倍	(14.8倍)
情報コース	11.6倍	(11.4倍)
化学・生物コース	12.8倍	(6.9倍)
専攻科	65.7倍	(52.2倍)

今年度最終求人社数 782社 (772社)

進路指導・キャリア教育1

NIT - Tsuruoka

・令和5年度の進路指導・キャリア教育の実績と予定

令和5年度卒業予定者にかかるスケジュールについて(担任・学生用)

日付	就職	進学	内容	備考(会場等)
令和4年				
12/7 (水) 7・8校時	○	○	進路ガイダンス、進路志望調査書配付・誓書・求職調査票配付(専攻科1年)	視聴覚室 (全 員)
12/10(土)～12/11(日)	○		高専生のための仕事研究&インターンシップフェア(マイナビ)	WEB開催 (希望者のみ)
12/17 (土)	○		高専生のための業界研究セミナー(学研教育みらい)	仙台市 (希望者のみ)
令和5年				
1/4 (水)	○		求人票公開開始・専攻科生就職活動開始	(全 員)
1/12 (木)	○		キャリアカウンセラーによるセミナー(履歴書・エントリーシート作成指導)	合同講義室 (希望者のみ)
1/13 (金)	○		〃 (面接やグループディスカッション指導)	合同講義室 (希望者のみ)
1/13 (金)	○	○	進路志望調査書提出期限、誓書・求職調査票指導教員に提出(専攻科1年)	(全 員)
1/17 (火)	○		キャリアカウンセラーによるセミナー(1/12と同様の内容)	合同講義室 (希望者のみ)
1/20 (金)	○		〃 (1/13と同様の内容)	合同講義室 (希望者のみ)
1/21 (土)	○		東北地区高専生のための仕事研究セミナー(メディア総研)	仙台市 (希望者のみ)
2/4 (土)	○		鶴岡高専企業研究セミナー(午前:県内企業、午後:県外企業)	7・8号館 (全 員)
3/1 (水)	○		誓書・求職調査票配付(本科4年)	(全 員)
4月始業日	○		本科生就職活動開始・誓書・求職調査票指導教員に提出(本科5年)	(全 員)
4月 上旬	○	○	進路調査	(全 員)
4月 上旬		○	進学ガイダンス	合同講義室 (進学希望者全員)
4月 中旬	○	○	保護者懇談会	(全 員)

は学外でのイベント

- ・ 就職情報（求人情報）のwebシステムでの公開
- ・ 進路指導の実施（6月、10月、12月）
- ・ 合同企業説明会の実施
（令和5年度は12月に実施予定）
- ・ 外部講師による履歴書の書き方、
面接についての講習会の実施
- ・ 面接の練習（学生係で受け付けている）
- ・ 学校指定の履歴書を作成

・ 企業研究セミナー（令和5年12月9日実施）

- ☞ 午前80社、午後80社、計160社が参加
- ☞ 本校体育館を会場に集合形式による実施



令和6年1月31日現在の進路状況

令和5年度 卒業後の進路状況（本科名）



本科求人倍率

令和3年度	11.7倍
令和4年度	10.2倍
令和5年度	12.1倍

専攻科求人倍率

令和3年度	56.6倍
令和4年度	52.2倍
令和5年度	65.7倍

R5 就職状況(本科5年生)

1. 卒業予定者進路状況

(令和6年 1月31日現在)

コース名	卒業 予定者数	就職 希望者数	就職 内定者数	就職内定者数内訳			進学 希望者数	進学 決定者数	その他 自 営	求人 会社数	求人数	求人倍率	求人 数 前年度比
				県 内	(うち庄内地区)	県 外							
機 械	(5) 37	(4) 28	(4) 28	(0) 6	(0) 4	(4) 22	(1) 9	(1) 9	(0) 0	(704)	356	12.7	—
電気・電子	(1) 45	(1) 30	(1) 30	(0) 7	(0) 6	(1) 23	(0) 15	(0) 15	(0) 0	(715)	350	11.7	—
情 報	(7) 42	(5) 26	(5) 26	(0) 4	(0) 2	(5) 22	(1) 15	(1) 14	(1) 1	(643)	302	11.6	—
化学・生物	(15) 31	(10) 17	(10) 17	(3) 5	(2) 4	(7) 12	(5) 14	(5) 14	(0) 0	(512)	217	12.8	—
合 計	(28) 155	(20) 101	(20) 101	(3) 22	(2) 16	(17) 79	(7) 53	(7) 52	(0) 1	782	1,226	12.1	—

() は女子で内数

求人会社数の()は求人会社数の希望コースの内数

2. 規模別就職内定状況

コース名	就職 内定者数	従 業 員 数 規 模 別						資 本 金 規 模 別						備 考
		100人 未満	100人 ～ 499人	500人 ～ 999人	1,000人 ～ 4,999人	5,000人 以上	官公庁等	5,000万円 未満	5,000万円以上 ～ 1億円未満	1億円以上 ～ 10億円未満	10億円以上 ～ 50億円未満	50億円 以上	官公庁等	
機 械	28	1	4	4	12	7	0	1	6	6	4	11	0	
電気・電子	30	1	5	5	13	6	0	2	2	6	8	12	0	
情 報	26	1	8	3	11	3	0	4	0	12	6	4	0	
化学・生物	17	2	1	7	4	3	0	2	2	4	2	7	0	
合 計	101	5	18	19	40	19	0	9	10	28	20	34	0	

R5 就職状況(専攻科)

1. 修了予定者進路状況

(令和6年 1月31日現在)

専攻名	修了 予定者数	就職 希望者数	就職 内定者数	就職内定者数内訳			進学 希望者数	進学 決定者数	その他 自営	求人 会社数	求人数	求人倍率	求人数 前年度比
				県内	(うち庄内地区)	県外							
機械・制御コース	(0) 2	(0) 2	(0) 2	(0) 1	(0) 1	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(641)	276	138.1	—
電気電子・情報コース	(2) 9	(2) 7	(2) 7	(0) 1	(0) 1	(2) 6	(0) 2	(0) 1	(0) 0	(669)	323	46.1	—
応用化学コース	(0) 6	(0) 3	(0) 3	(0) 1	(0) 1	(0) 2	(0) 3	(0) 2	(0) 0	(535)	190	63.3	—
合計	(2) 17	(2) 12	(2) 12	(0) 3	(0) 3	(2) 9	(0) 5	(0) 3	(0) 0	689	789	65.7	—

()は女子で内数

求人会社数の()は求人会社数の希望コースの内数

2. 規模別就職内定状況

専攻名	就職 内定者数	従業員数規模別						資本金規模別						備考
		100人 未満	100人 ～ 499人	500人 ～ 999人	1,000人 ～ 4,999人	5,000人 以上	官公庁等	5,000万円 未満	5,000万円以上 ～ 1億円未満	1億円以上 ～ 10億円未満	10億円以上 ～ 50億円未満	50億円 以上	官公庁等	
機械・制御コース	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	
電気電子・情報コース	7	0	1	2	2	2	0	0	0	1	2	4	0	
応用化学コース	3	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	
合計	12	1	2	3	2	4	0	2	0	1	3	6	0	

- ・ 年度初めの担任/指導教員による個人面談の実施
- ・ 年4回のいじめアンケートの実施（5月、7月、10月、12月に実施）
- ・ 合理的配慮をするための支援
- ・ 保健センター／相談室で心身の健康をサポート

☞ 学生が相談しやすい相談方法の整備

- ・ 対面相談、電話相談、メール相談、オンライン相談

☞ 心と体の健康調査の実施

- ・ 保健センター員が不安感が見られる学生と個別面談

☞ スクールカウンセラーをはじめとする相談体制（要予約）

- | | |
|-------------------------|-----|
| ・ スクールカウンセラー（オンライン相談のみ） | 週2回 |
| ・ スクールソーシャルワーカー | 週2回 |
| ・ 精神科医 | 月1回 |
| ・ 相談員（特別支援教育士） | 週1回 |
| ・ 教育相談員 | 週1回 |
| ・ 相談員（学内保健センター員） | 随時 |



保健センター



相談室

- ①東北地区高専体育大会： 6/30～7/2（会場の関係で競技の一部は別日で開催）
- ②全国高専体育大会： 8月下旬～9月上旬
- ③ロボコン東北地区大会： 10/8（日）【秋田高専主管】
- ④東北地区高専ラグビー大会： 10/13（金）～17（火）【仙台高専広瀬主管】
- ⑤プログラミングコンテスト本選： 10/14（土）～15（日）【奈良高専主管】
- ⑥全国高専デザインコンテスト： 11/11（土）～12（日）【舞鶴高専主管】
- ⑦ロボコン全国大会： 11/26（日）



東北地区高専体育大会：6／30(金)～7／2(日)主な結果

NIT - Tsuruoka

陸上競技：女子：学校対抗1位、100m1位、100mH2位、4 X 100m R 1位、
走高跳2位、走幅跳2位、やり投3位

男子：100m2位、1500m3位、5000m2・3位、走幅跳3位

バレーボール：女子：2位

バドミントン：男子：団体戦1位、シングルス1・2・3位、ダブルス1位

ソフトテニス：男子個人戦2位

柔道：男子：個人戦66kg級3位、73kg級3位

卓球：男子：団体戦1位、シングルス1・3位、ダブルス1位

水泳：男子：自由形50m2・3位、100m1・2・3位、200m3位、4 X 100m2位

女子：平泳ぎ100m3位

テニス：女子：団体戦2位、シングルス1位、ダブルス2位

男子：団体戦3位、シングルス3位

剣道：女子：団体戦1位、個人戦1・2位

男子：団体戦3位

卓球：男子：団体戦 3位

陸上競技：男子100m：4位入賞

男子5000m：4位入賞

水泳：6位以内の入賞ならず

剣道（女子）：予選敗退

バドミントン：予選敗退

ソフトテニス：予選敗退

テニス：予選敗退

- ①春季高校野球庄内地区予選：4 / 下旬～5 / 上旬
- ②庄内地区高校総体大会：5 / 中旬
- ③春季高校野球山形県大会：5 / 中旬
- ④山形県高校総体：6 / 上旬
- ⑤高校野球選手権大会山形大会：7 / 中旬
- ⑥秋季高校野球庄内地区大会：8 / 下旬～9 / 上旬
- ⑦庄内地区高校新人体育大会：9 / 中旬
- ⑧山形県高校新人体育大会：10 / 中旬



- AMデザイン部が、全国高等専門学校デザインコンペティション（高専デザコン）2023の**プレデザコン部門 AMデザインフィールド**で、「特別賞」を受賞。

タイトルは「ご縁あってまたご縁」



【ロボコン全国大会】特別賞受賞

- ・令和5年10月8日(日)に開催された「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2023東北地区大会」において、本校Aチーム「かっとび君」が全国大会の出場権を獲得
- ・9年ぶりの出場となった全国大会において、マブチモーター株式会社特別賞を受賞



第2回高専 GIRLS SDGs × Technology Contest(高専 GCON2023) 本選出場

NIT -Tsuruoka

主催／独立行政法人国立高等専門学校機構
共催／日本経済新聞社

女子学生を中心としたチームで日頃行っている研究や学習がSDGs観点からさまざまな社会課題に対してどう貢献できるか考えることにより、未来の研究者・技術者としてさらなる成長を促すコンテスト。

本選：2024年1月21日(日)13:00～18:00(東京 日経ホール)

本校からは「地域を繋げる課題解決型技術コーディネーター」が出場し、全国高専の中から選抜された12チームの一つとして本選に初出場を果たしました。

研究内容

テーマ：白鷹町の邪魔者ブラックバスで鶴岡市の月山高原ひまわり畑を復活！大作戦

内容：鶴岡市の観光地「月山高原ひまわり畑」の肥料開発に向けて、白鷹町で釣り人から買い取ったブラックバスを魚粉肥料にする手法構築や、簡易土壌分析法開発について研究しました。

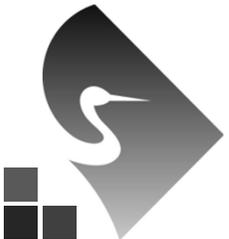




資料4-2

【寮務関連事項について】

寮務主事 山田充昭

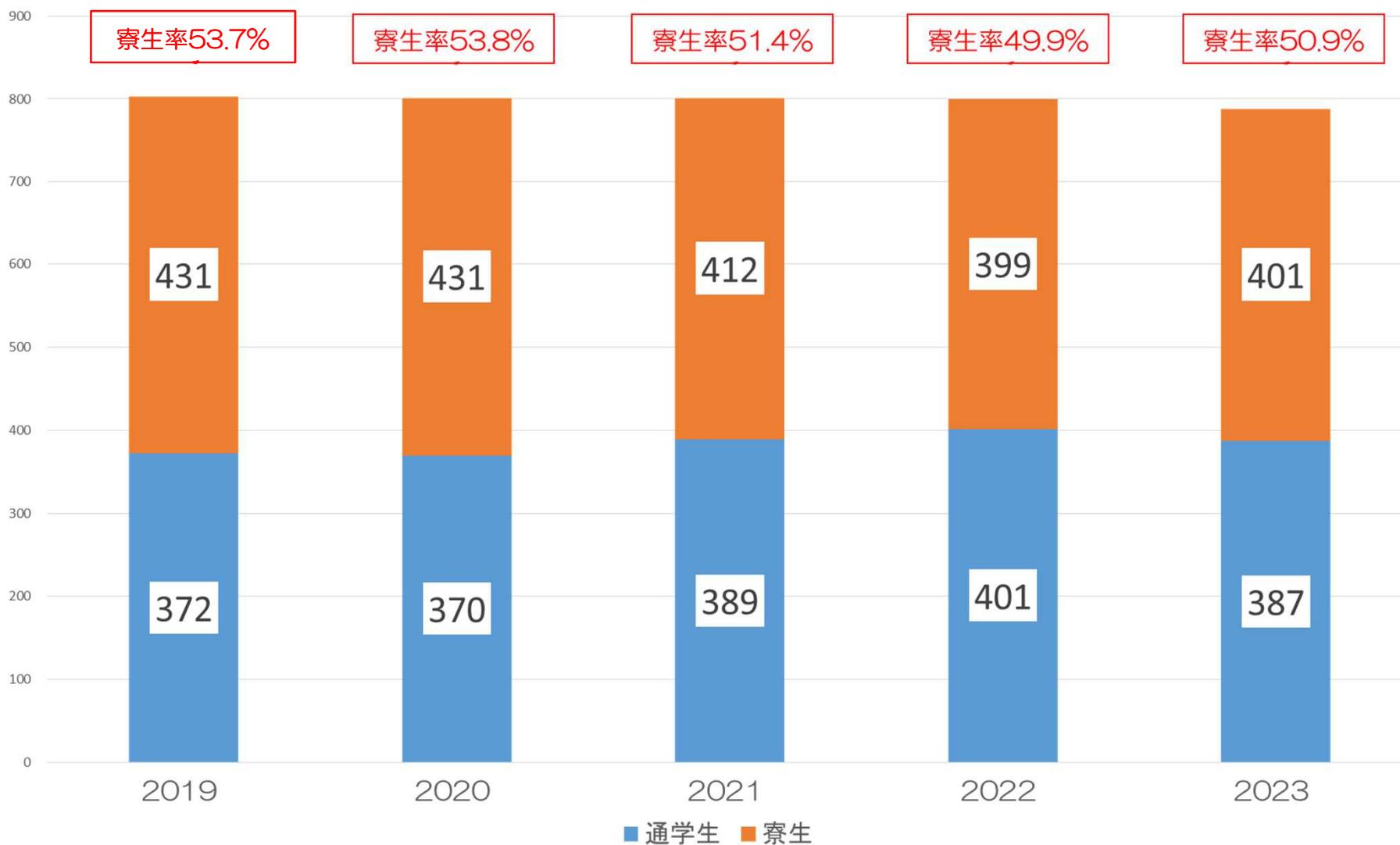


学生寮関連①



NIT - Tsuruoka

寮生・通学生数比較（2019～2023）



本科生の半分以上が、同じサイクルやシステムで生活

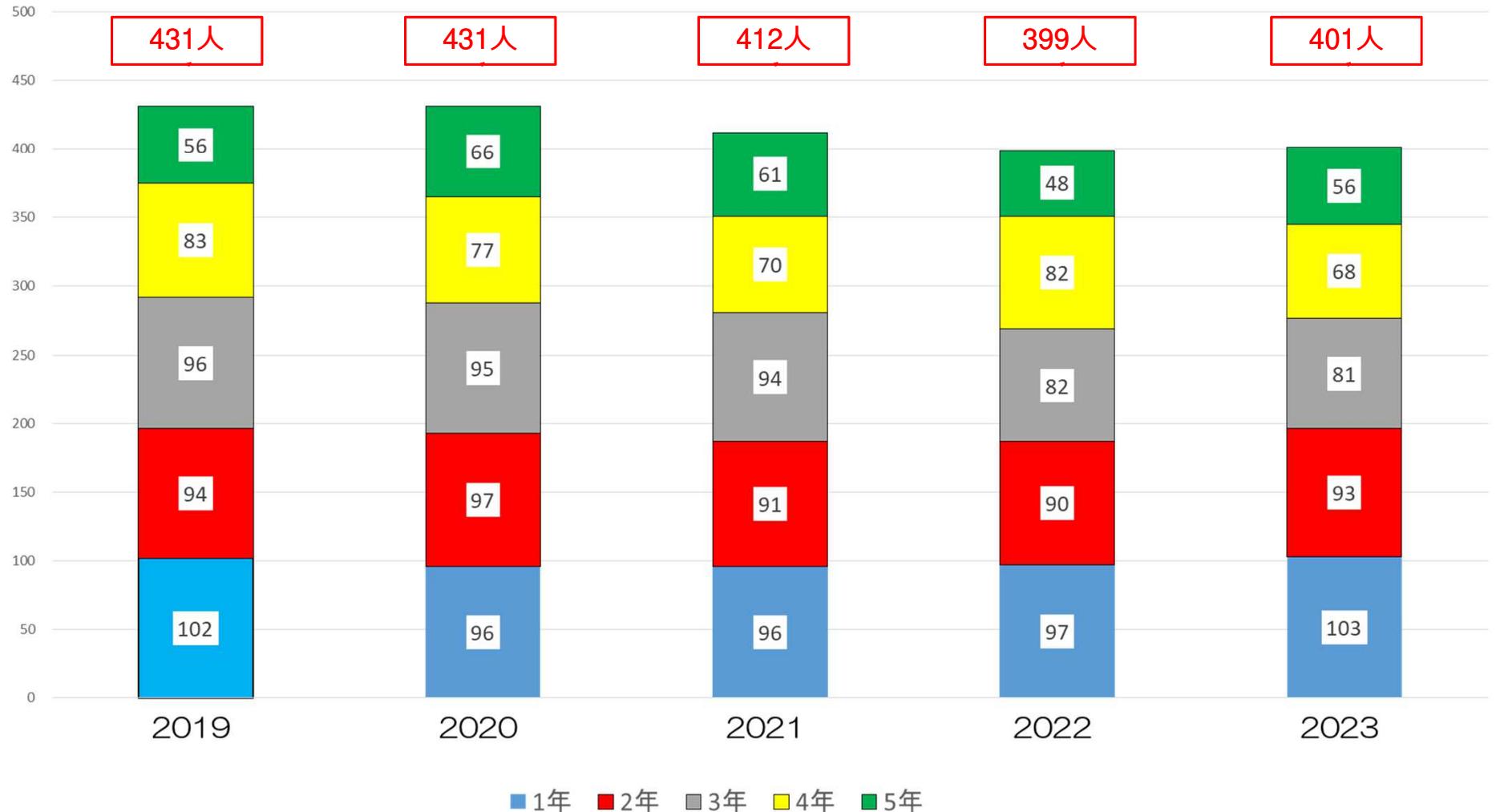
⇒ 寮生活は、鶴岡高専学生生活のスタンダード

学生寮関連②



寮生数推移 [学年別] (2019~2023)

NIT - Tsuruoka



1,2年生の希望を優先的し、スタイルで入寮者を受け入れ
実際には、3年生以上も相当数が学寮生活を送っている

■学寮運営の基本

• 生活寮として

○学生たちが安心してより快適に生活のできる場

⇒ 新型コロナウイルス感染症対策

⇒ 対策を講じた上で実施したイベント（寮生会企画・運営）

⇒ 防災・防犯意識の涵養

• 教育寮として

○社会生活上のモラルやマナーなどについて学ぶ場

⇒ 居室の共有（低学年は2、3名で1室）

⇒ 食堂・浴場等の共有

⇒ 一定のタイムテーブルに沿った生活

■学寮改修工事について

学寮施設は、老朽化のため順次改修が行われている

- 2023年度 7寮改修（Ⅱ期）

- 男子寮棟7寮の半分を改修 … 9月以降、約50室が使用不可

- ⇒ 市営住宅紹介（鶴岡市役所の協力）

- ⇒ 近隣シェアハウスの紹介（卒業生保護者の協力）

- ⇒ 自動車通学許可

} 退寮協力者
への
フォロー

- 2024年度予定 4寮改修、国際寮建設

- 男子寮棟4寮の改修 … 受入れ人数調整中

- 旧ボイラー施設・旧実験廃水処理施設解体 ⇒ 国際寮新設

学生寮関連⑤



NIT - Tsuruoka

■寮生会が運営したイベント

- 新入寮生入寮 (4/7)
- 寮生会総会 (4/19、1/25)
- 寮祭 (5/27)
- 寮生避難訓練 (5/9、10/3)
- 寮生体育大会 (12/13)
- クリスマス会 (12/17)
- 他



寮生体育大会



寮祭





資料 5

【財務基盤及び管理運営について】

事務部長 佐藤 俊次





【財務基盤】



■ 運営費交付金の現状

- 高専機構からの各高専への当初予算配分については、既定分の管理運営費を△3%削減して配分。
- 鶴岡高専への当初予算配分額
 - ・ 当初予算配分額：前年度から約2千万円増額（光熱水料の増額）（人件費を除く）

⇒ **約2億5千万円**（R5年度）

■ 当初予算への反映（毎年度予算配分方針を定め、4区分に分類して配分）

- 共通経費（光熱水費、施設維持費等）は事項別に過年度実績△10~20%削減、業務委託費等は所要額（約12,500万円）
- 教育・研究経費は事項別に前年度比△3~15%削減（約7,600万円）
- 教育研究支援経費（教育・研究を支援するための運営費等）は前年度比△15%削減、維持費は所要額（約1,500万円）
- 一般管理費（事務費、環境整備費、広報活動費等）の前年度比△15~30%削減（約3,400万円）

■ 予算削減のための対応

- 事業の縮小や見直しによる改廃により対応
- 業務の効率化により対応
 - ・ **他高専と共同購入し契約事務の節減** (秋田、八戸、福島高専と共同購入・契約など)
- 競争性を確保した契約の推進
 - ・ **複数年契約**による経費節減・業務軽減
- 競争的資金などの外部資金の積極的獲得に向けた取り組み
 - ・ **「科研費セミナー」の実施(25名参加)** (筑波大学教授を講師として招聘)
 - ・ **産学官連携活動の報奨制度** (R3～間接経費の総額が35万円以上の場合に、間接経費の3%を支給。)

■ 削減して留保した当初予算の主な使途

- **共通経費**のうち、光熱水費(電気・ガス・水道)は、**使用量ベースで前年度比△1.0%削減**を目標設定。

しかしながら、**昨今の燃料費高騰**を受けて**執行額が大幅に増加**している。

高専機構配分額

R5年度(当初) 約7,600万円+(追加)100万円=約7,700万円

R4年度(当初) 約5,000万円+(追加)800万円+(追加)197万円=約6,000万円

特別教育研究経費



NIT - Tsuruoka

■ GEAR 5.0 及び COMPASS 5.0 による Society 5.0 時代に即した新たな高専高度化モデル事業の推進

○ GEAR 5.0 (R5 18,977千円) (R4 20,715千円)
(高専の高度な研究を通して、優れた技術を持つ人材を育てる事業)

・ マテリアル分野：14,495千円 (2020.04～)

中核拠点校 鈴鹿、協力校 **鶴岡**、小山、呉、大分

・ 防災・減災・防疫分野：4,482千円 (2021.04～)

中核拠点校 沖縄、協力校 **鶴岡**、長岡、和歌山、宇部、新居浜

■ 高専高度化推進経費 (R5 20,868千円) (R4 12,013千円)
(各高専のニーズに応じた機動的な取組を推進するための経費)

○ 学校改善事業 (2,200千円)

・ DX導入による志願者確保の効果的戦略プロセス構築および入学者学習支援

○ 学生指導体制の充実 (2,545千円)

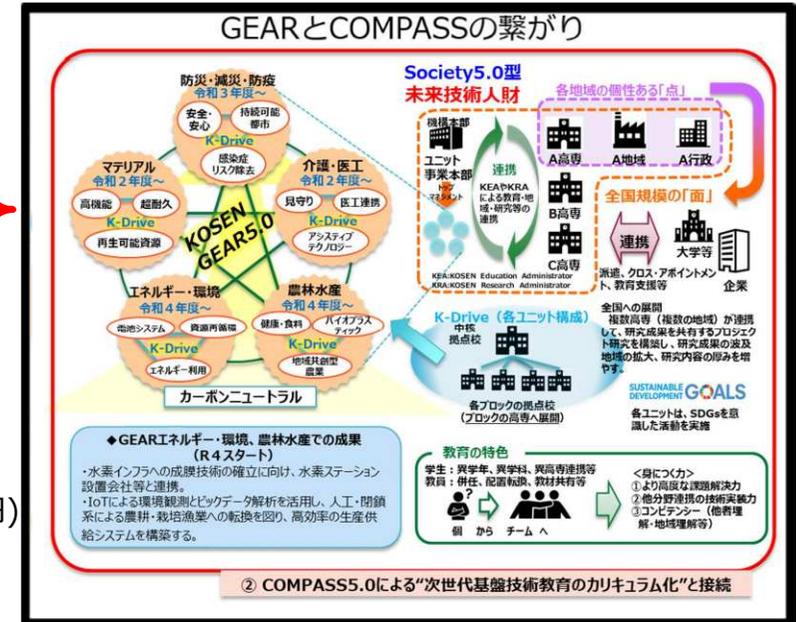
・ 精神科医、カウンセラー、教育相談員、特別支援教育士、
ソーシャルワーカー、スクールロイヤーの配置

○ 教職員の業務負担軽減に向けた取組 (4,200千円)

・ 学生寮業務、課外活動指導員の人件費補助

○ 学生の教育研究環境の充実 (11,923千円)

・ 什器や厨房設備更新、小規模施設修繕費



施設整備



ruoka

《令和元年度》

- ・ 寄宿舍第2寮改修工事（補正予算）
- ・ 6号館他実験室空調設備取設工事（特別教育研究経費）
- ・ 寄宿舍ボイラー設備更新工事（特別教育研究経費）
- ・ 外灯設備改修工事（外灯LED化）（特別教育研究経費）

《令和2年度》

- ・ 機械実習工場トイレ改修（補正予算）（女子トイレ新設）
- ・ 構内ネットワーク改修工事（GIGAスクール構想）
- ・ 第2体育館床改修工事（営繕事業）

《令和3年度》

- ・ テクノセンター等空調設備改修工事（営繕事業）（老朽空調更新）
- ・ 寄宿舍第7寮改修工事（Ⅰ期・西側）（補正予算）
- ・ 学習・交流ラウンジ整備（寄附金）

《令和4年度》

- ・ 総合メディアセンター1階デジタルサロン整備（寄附金）
- ・ **混住型学生寮(国際寮)新営工事（補正予算）※令和7年3月完成予定**
- ・ 寄宿舍第7寮改修工事(Ⅱ期・東側)（補正予算）※令和6年2月完成

《令和5年度》

- ・ 総合メディアセンター屋上防水改修工事、構内サイン計画（営繕事業）
- ・ **寄宿舍第4寮改修(補正予算)**
《令和6年度概算要求 ⇨ 令和5年度補正予算(前倒し)》

《令和6年度》

- ・ 令和7年度概算要求として、寄宿舍管理棟改修、校舎4号館改修の2件を要求予定



混住型学生寮（国際寮）パース図



7寮改修



構内案内用サイン

■ 科学研究費助成事業（科研費）（研究分担者分を含む、R5年度）

（科研費の取得推移：R5年度・約42,393千円、R4年度・約37,855千円、R3年度・約29,720千円）

○継続課題

- ・イオンブラシと微粒子の複合ハイブリッド構造を有する超低摩擦摺動システムの創製（ほか14件）
20,263千円

○新規課題

- ・階層構造とトポロジーを利用した濃厚ポリマーブラシの迅速自己修復と耐久性向上（ほか8件）
22,130千円

■ 政府系外部資金（主なもの）

○国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST） 14,300千円

- ・戦略的創造研究推進事業（CREST）
（超低摩擦ポリマーブラシの摩耗現象の階層的な理解と制御）

○国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） 12,000千円

- ・カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発（2,000千円）
- ・イオン液体構造を有するアイオノマーによる革新的低白金技術の研究開発（10,000千円）

○独立行政法人 環境再生保全機構（ERCA） 13,000千円

- ・環境研究総合推進費（省エネ・低環境負荷を実現する次世代船底塗膜ならびに塗工プロセスの開発）

■ 寄附金（主なもの）

○公益財団法人電気通信普及財団 1,148千円

- ・研究助成（ペット用熱中症予防システムの開発）

○K-ARC拠点化推進協議会 1,800千円

- ・K-ARC(高専応用科学研究センター)の機能強化と広域的拠点化を推進するため

各事業への申請

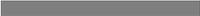
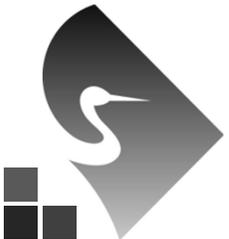
- 「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」
令和4年度補正予算 108,000千円（配分済み）

- 「令和6年度大学・高専機能強化支援事業」（申請中）
支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援
高専1校当たり 最大 100,000千円×10年 = 1,000,000千円
実施期間：R7～R16年度（予定）

- 「グローバルエンジニア育成事業」（申請中）
高専1校当たり 最大 12,000千円（年） 実施期間：R6～R10年度（予定）



【管理運営】



■ 危機管理への対応 (主なもの)

・ 鶴岡工業高等専門学校危機管理規程 (H23年制定)

- ・ 常設・・・危機管理を総合的かつ計画的に推進するための組織 ⇒ リスク管理室
- ・ 危機事象発生時・・・危機事象に対処するための組織 ⇒ 危機対策本部

・ 毎年、防災訓練の実施、インフルエンザ発生時の対応を確認 (感染症対応の見直し)

- ・ R 5年8月 新型コロナウイルス感染症の対応方針について
インフルエンザ対応も含めた感染症への新たな対応方針を策定

・ 情報セキュリティへの取り組み ⇒情報セキュリティ管理委員会

不審メールへの対応訓練、情報セキュリティ研修会の実施、メール誤送信対策 (2段階確認システム)、**USBメモリ等への要機密情報の保存禁止**

・ スクールロイヤー契約を締結 (R 5年11月)

今年度新たに**市内法律事務所とスクールロイヤー契約を締結**し、諸問題に対する法的見地からの指導・助言、いじめ予防教育などの取組等を行っている。



■ 積極的な情報発信 (主なもの)

- ・本校独自のプレスリリース(記者発表(適宜))
- ・鶴岡高専メールマガジンの発信(月2回)
- ・鶴岡高専ホームページ上で、学校案内や教育・研究情報を積極的に発信
感染予防対策情報や緊急連絡を発信
課外活動における学生表彰を積極的に発信
- ・X(旧Twitter)による学校行事や入試情報の発信
- ・You Tube「学校紹介(R4.11.12公開)」 「 You Tube 甲子園(R5.2.8公開)」本校動画の活用 (R6.2現在視聴回数合計約1. 1万回)
- ・県内中学校を中心とした入試情報ダイレクトメールの配信
- ・高校進学塾へ校長・入試担当が訪問、本校を進学先の一つとして進路指導への活用を直接依頼
- ・各種公開講座・講演会、シンポジウム、イベントなどを開催
市民サロン、K-ARCシンポ、産業技術フォーラム、科学フェスタ etc.

教職員の質的向上



NIT -Tsuruoka

■ 公募による多様な背景を持つ教員（定員）の採用

- ・ 他大学、民間企業経験者等を採用

R5：採用6名（R4：採用4名、R3：採用4名）

- ・ 女性教員の割合 約10%（59名中 6名）

（令和6年3月1日現在）

教員	校長		教授		准教授		講師		助教		特任教授		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
現員	1	—	19	—	23	1	3	—	7	5	—	—	53	6	59

■ 女性教員の割合を増やすための、女性教員限定公募（電気・電子コース）を実施。 （高専機構本部の特別措置） → R6採用決定：1名

■ 事務系職員の人事交流等の推進

- ・ 事務職員の国立大学等(主に山形大学)との人事交流

R5年度 受入交流者 3人（R4年度 4人、R3年度 7人）

- ・ 事務職員の高専機構本部との人事交流

R6年度 高専機構本部への出向 1人（2年間、後任は新規採用で補充）

（参考）事務系職員（定員職員）の採用（R6・・・1名、R5・・・2名）（令和6年4月1日見込み）

■ 教職員の能力開発の取り組み（主なもの）

○ 教員

- ・ 高専機構本部主催の各種研修への参加
R5年度 延べ10名 (R4年度 延べ9名、R3年度 延べ8名)
- ・ F D (Faculty Development : 教員能力開発) 研修
本校独自でR5年3月13日に「学生指導に関する研修会」を実施 参加人数16名
教職員向けWebページで研修動画及び研修資料を配信)
- ・ その他令和5年度学校主催 セミナー、講演会等
 - ・ 鶴岡高専内科研費ワークショップ・科研費セミナー
 - ・ D X 研修会
 - ・ 自殺予防講演会（教職員向け）
 - ・ ハラスメント防止研修会（教職員向け）
 - ・ 情報セキュリティ講習会（教職員向け）
 - ・ いじめ防止研修会（教職員向け） 等

○ 事務系職員（事務職員、技術職員及び看護師）

- ・ 高専機構、国立大学協会、人事院主催等の各種研修へ参加
※ R5年度 延べ25名 (R4年度 延べ19名、R3年度 延べ28名)
- ・ 東北大学の技術職員による講演会（本校主催 対面・オンライン併用R5年12月8日開催）
本校及び東北地区高専技術職員、山形大学技術職員ほか40名参加
- ・ 東北地区国立高等専門学校事務職員合同研修（R5年11月20日～21日）
東北地区高専の若手事務職員が自らテーマを設定し、チームを組んで検討、提案を行うPBL型研修。今回のテーマは「地域連携」 (本校から2名参加)
- ・ 事務職員及び技術職員メンター制度
メンティ(指導される者)及びメンター(指導する者) 双方について、自身の能力向上を図るとともに、鶴岡高専の持続的な発展の原動力となる人材育成風土の醸成を図る。 ※ R5年度 (新規採用職員) 2名



創立60周年記念事業



NIT - Tsuruoka

創立60周年記念式典の開催（令和5年10月27日（金））



記念式典（「高専の森」植樹式）



記念式典（峰友会様より公用車贈呈）



来賓と学生との懇談会



高専機構谷口理事長FD講演会

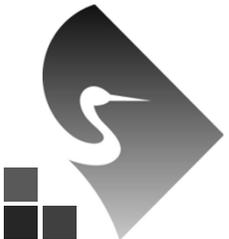




資料 6

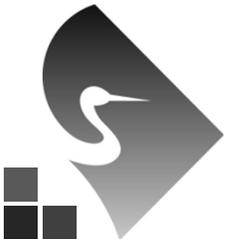
【専攻科関連事項について】

専攻科長 戸嶋 茂郎





【専攻科課程の教育活動の状況】





1. 養成する人材像

多様な価値観と広い視野を持ち、高度・多様化する先端技術とグローバル化に対応できる実践的で創造力豊かな開発型技術者

2. 達成すべき学修成果

専攻科課程の学生は、下記の普遍的に有用性を持つ能力および専門分野に固有の知識・技術を学修成果として達成するものとする。

- (1) 広い視野を持ち、多様な価値観を理解できる能力
- (2) 自ら考え計画し、能力を総合的に発揮して問題を解決できる能力
- (3) 専門分野に加えて基礎工学をしっかりと身につけた生産技術に関する幅広い対応力
- (4) 英語力を含めたコミュニケーション力

3. 修了要件

専攻科の一般科目、共通専門科目、およびコース毎の専門科目を履修し、所定の単位取得要件を満たして専攻科の学習・教育目標を達成した者は、上記2. の能力を身につけているとして修了証を授与する。



4月 8日	オリエンテーション(1年生)
6月16日	学位授与申請説明会(2年生)
7月14日	インターンシップガイダンス(1年生)
9月12日	学位授与ガイダンス(2年生)
10月18日	進路指導(1年生)
12月 6日	進路指導(1年生)
12月19日	企業研究セミナー(1年生)
1月19日	キャリアセミナー(1年生)
2月21日	オリエンテーション(1年生)
3月14日	令和6年度新入学生オリエンテーション(予定)





教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

(3) 自ら考え計画し能力を総合的に発揮して問題を解決できる能力の育成

- ・実践的デザイン工学実習

グループワークによる課題発見と解決

- ・創造工学実習

課題解決に向けた創造的思考力の育成



飛島におけるフィールドワークを中心に実施

今年度実施テーマ(プロポータル用に学生がつけたタイトル)

「漂着ごみの回収に革命を」

「漂着ごみリサイクル 流木から和紙をつくろう」

「DX技術の応用による新しい観光の提案を」

「飛島ラーメンを作ろう！」

「海と大地の恵みを味わう『飛島塩味ごどいもポテチ』」



Photo. 合宿活動における外部の専門家による講演と討論

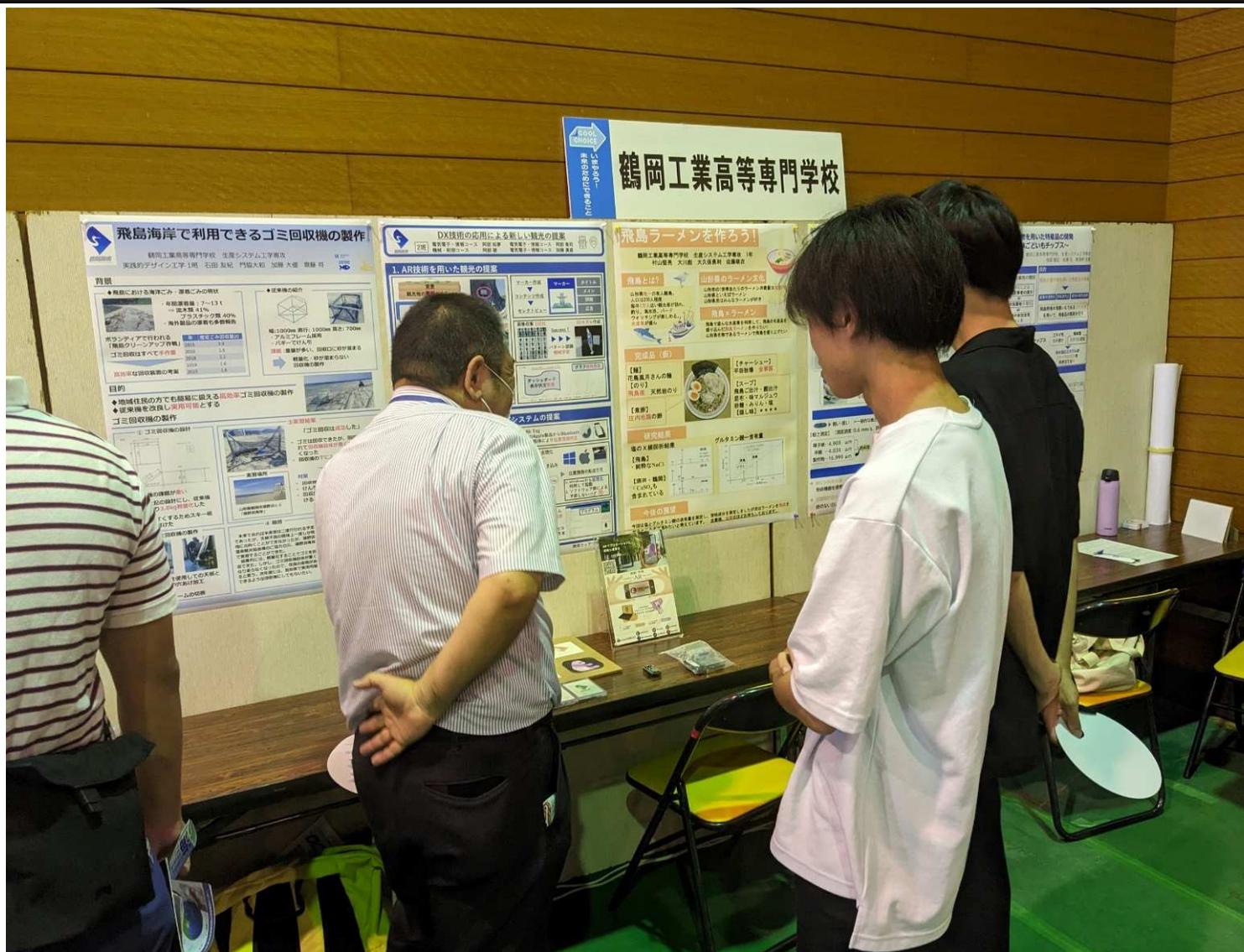


Photo. 活動成果の一般市民へのプロポーザル
(環境フェアつるおか)

機械・制御コースと電気電子・情報コースは合同で

「人に役立つ装置(システム)の製作」

をテーマに本科機械コース，電気電子コース，情報コース出身学生で一つの班を編成し，1年間課題に取り組む授業を実施．各出身コースの得意分野を活かしつつ，多くの試行錯誤・失敗，更にチームワーク力の大事さを経験できるプログラムになっている．





Photo. 最終プレゼンテーションの様子

「指紋認証による出席確認システム」の作製

指紋センサーにより指紋を認証し出席時間を記録するとともに、出席情報を担当教員に送信し、出席状況をデータで管理できるシステムを作製した





令和6年1月19日(金)にポスター発表形式で実施

専攻科生の研究活動を地元企業の皆様に広く知ってもらおう

- ・研究発表ポスターは原則日本語
- ・「地元企業や他分野の方々にも分かりやすい資料作成・発表」
を心がけるよう事前指導



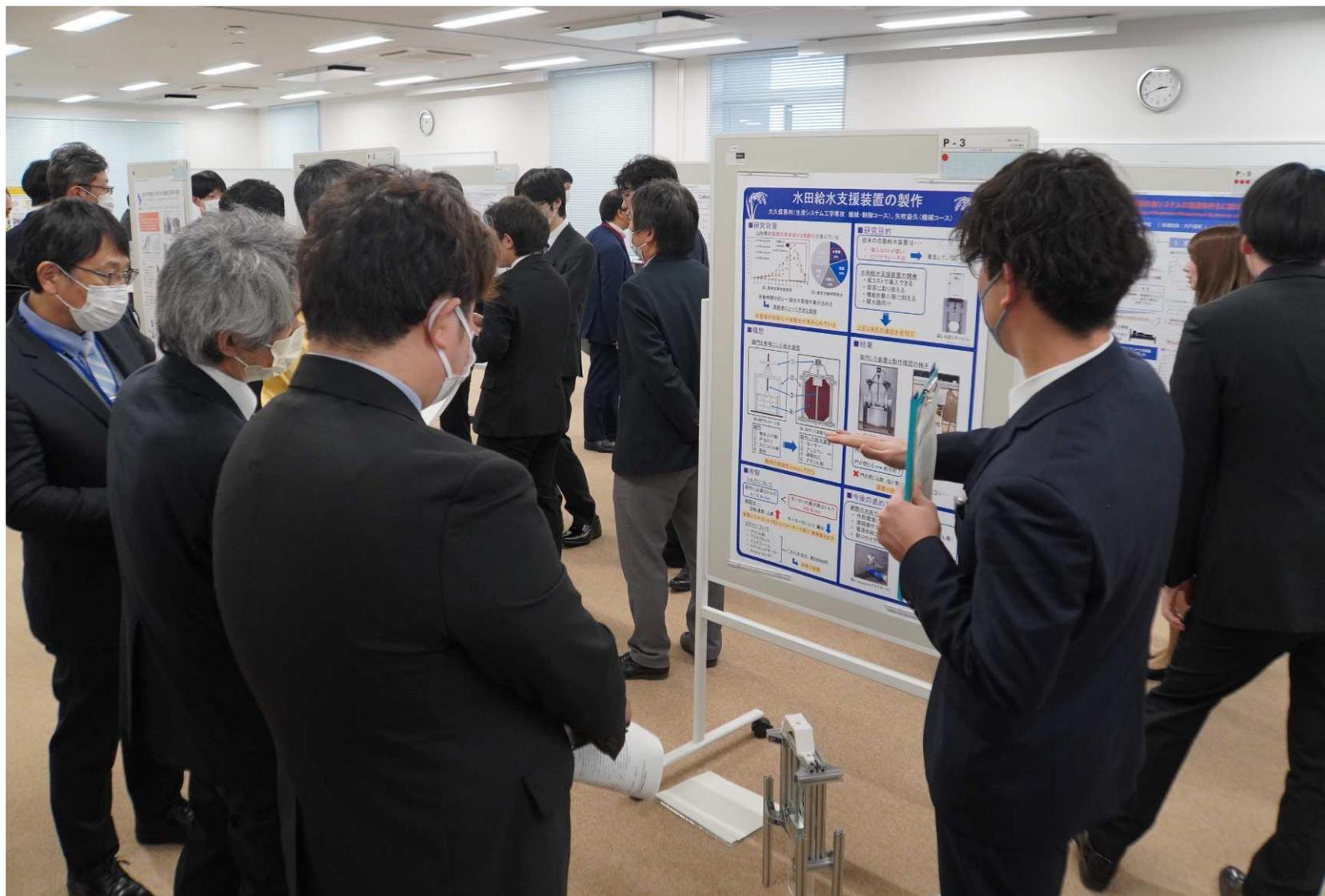


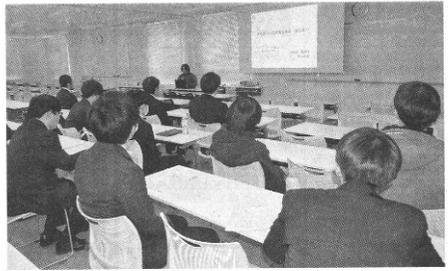
Photo. 発表会の様子（県内企業から24名の参加）





日 報 荘 内

鶴岡高専専攻科1年生研究発表会 学びの成果披露 企業と意見交換



鶴岡高専専攻科1年生の発表会。企業担当者へ自身の研究成果を披露し、意見を交換した。

鶴岡高専専攻科1年生の発表会。企業担当者へ自身の研究成果を披露し、意見を交換した。地域企業参加型の発表会として毎年この時期に実施している。専攻科1年がプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高める。専攻科の1年生たちが県内企業の業務内容や優れた製品について説明を聞いた。

今回の発表会は、地域企業との意見交換を通じた研究に企業への新たな発想を取り込むことが目的。今回は専攻科1年の男女19人が参加。初めに学生の職業観を醸成するキャリアセミナーが開かれ、県内の4企業が講師となつてそれぞれを説明した。

このうち東北東ソー化学(酒田市)は「当社は山形県内では珍しい化学プラントを有するメーカー。手用品のカセイソーダをはじめとする化学製品を製造、販売する。主な取引先は製紙会社や水道局プールなど。あまり目に見えないが、日々の生活に密かかっている」と説明し、「求めている人材は化学、理系の技術スタッフと、機械や電気、制御各分野の技術が必要となる工務スタッフ。化学メーカーだからといって化学分野に優れた人だけを必要としていない。化学プラントはさまざまな技術の集合体」と解説した。

学生からは「鶴岡高専のOBとのことだが、ここで

学んだ知識や経験は仕事でどのように役立ったか。化学プラントは24時間稼働しているとのことだが、勤務体制の詳細は「など積極的に質問していた。

その後、発表会が行われ、学生たちが提示したボスターの前でそれぞれの研究の検証を行った実験結果や、今後の研究の進め方などについて企業関係者と意見交換を交わした。





参加された県内企業の方から後日頂いたコメント (1)

- ・ 高専の特色を生かし早い時期から専門分野の研究を行い探求されている事が伺われる内容であった。報告する態度も堂々と自信を持たれていて、総合的なレベルの高さを感じた。地元庄内地区の企業からは年齢の近い高専**OB**が参加されていて、より身近な会話をされていた印象もあったので、是非採用に繋げて今後の人材確保の一つのルートとして確立できれば良いと思う。





参加された県内企業の方から後日頂いたコメント (2)

・昨年度まで、学生として研究活動を行っていた立場からしても、ディスカッションの受け答えから非常にレベルが高い印象を受けた。実際に自分が専攻していた分野に近い内容のポスターもいくつかあったため専門的な質問を投げかけてみたが、ポイントを押さえた中身のある議論ができたと感じたため、専門性も十分に高いレベルに達していると思われる。また、学生のコミュニケーション力も高く、単に専門性だけではない、社会で通用する総合力の高さが伺われた。



令和5年度の学会発表件数 29件

国際会議等 7件

国内学会 22件



沖縄県男女共同参画センターで開催されたThe 11th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering 2023において、電気電子・情報コースの石川佳歩さんが口頭発表に臨み、Best Student Paper Awardを受賞

専攻科において研究指導が適切に行われている

令和5年度入学生からの新教育課程



融合・複合分野の科目・実験テーマを残しつつ
専攻科修了要件と学位授与機構の定める単位修得要件を一致





・推薦選抜 13名合格

面接(口頭試問含む)、推薦書、調査書等の総合判定

・学力選抜 6名合格

学力試験、面接(口頭試問含む)、TOEICスコア
調査書等の総合判定



入学定員と実入学者数



NIT - Tsuruoka

入学年度	入学定員	入学者数	入学定員 充足率	過去5年間の 平均充足率
R1	16	16	1.00	1.21
R2	16	24	1.50	
R3	16	21	1.31	
R4	16	17	1.06	
R5	16	19	1.19	





平成30年度～令和4年度修了生の平均 : **99.0%**



極めて高い



令和5年度就職状況



NIT - Tsuruoka

- ・学校推薦と自由応募
- ・本科と同じ就職支援体制

求人倍率： 令和4年度(659社) 52.2倍

令和5年度(689社) 65.7倍

内定率： 100%

主な就職先(令和5年度修了生)

県内： オリエンタルモーター, フォルメクテス

県外： 富士フィルム, サンリツオートメーション, LIXIL, JR東日本
日本マイクロバイオファーマ, 双葉電子工業, 旭化成 など





- ・一般入試の他に推薦制度や**専攻科特別推薦枠**あり
- ・**複数校の受験**が可能(5月～9月、二次募集もあり)
- ・進学者: 令和3年度 10名、令和4年度 7名、**令和5年度 5名**

進学先大学院(令和5年度修了生)

北海道大学, 東京工業大学, 豊橋技術科学大学

奈良先端科学技術大学院大学, 北陸先端科学技術大学院大学



学位取得状況（直近5年間）



NIT -Tsuruoka

修了年度	修了者	学位取得者	学位取得率 %
H30	22	22	100
R1	18	18	100
R2	16	16	100
R3	24	24	100
R4	21	21	100





「標準修業年限内修了率」 「進路状況」
および「学位取得状況」



修了認定の方針(ディプロマ・ポリシー)に沿った
学修・教育・研究の成果が認められる





資料 7

【研究活動・地域貢献関連事項について】

地域連携センター長 内山 潔

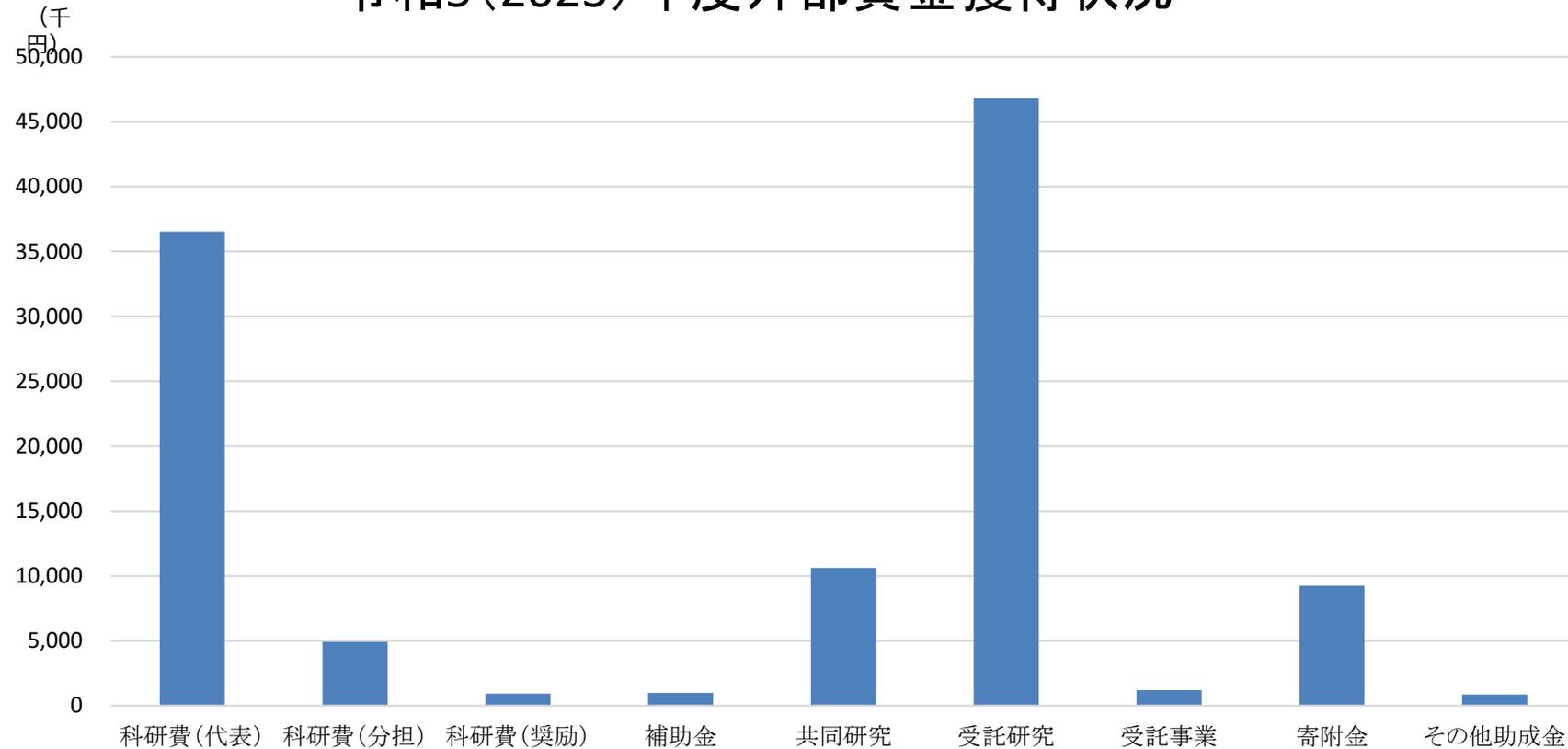


Ⅱ-1 外部資金



NIT - Tsuruoka

令和5(2023)年度外部資金獲得状況



	科研費(代表)		科研費(分担)		科研費(奨励)		補助金		共同研究		受託研究		受託事業		寄附金		その他助成金		合計
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
合計	15	36,539	7	4,914	2	940	3	1,000	22	10,624	12	46,800	1	1,204	19	9,245	3	880	112,146

※ 金額は直接経費+間接経費の計とする。

Ⅱ-2 研究活動



NIT - Tsuruoka

◆令和5年度実施 本校主催のイベント一覧◆

イベント名	開催日	開催場所	概要	備考
市民サロン①	7/28 (金)	庄内地域産業振興センター	市民向け講座	県内外部講師1名 内部講師1名
外部資金獲得研修会 (科研費セミナー)	7/31 (月)	本校視聴覚室 (オンライン開催)		県外外部講師1名
市民サロン②	9/23 (土)	本校8号館	市民向け講座	県内外部講師1名 内部講師1名
産業技術フォーラム①	10/21 (土)	酒田駅前交流拠点施設 ミライニ	専門分野の最先端情報を紹介・ 説明する企業・市民向け講座	県外外部講師1名
産業技術フォーラム②	11/11 (土)	本校8号館	専門分野の最先端情報を紹介・ 説明する企業・市民向け講座	県外外部講師1名
-地域企業参加型- 専攻科生研究発表会	1/19 (金)	本校8号館	技術振興会企業を招いての 専攻科1年生ポスター発表会	出展企業4社
K-ARCシンポジウム	3/11 (月)	鶴岡市 先端研究産業支援センター	K-ARCに関する研究成果を 発表するシンポジウム	基調講演: 県内講師1名 招待講演: 県外講師1名 研究紹介: 本校教員3名
産学連携セミナー	3/18 (月)	鶴岡市 先端研究産業支援センター	企業等との情報交換を通して、 新規事業創出、技術革新など の機会提供を目指す	県外講師3名

Ⅱ-2 研究活動



NIT - Tsuruoka

◆令和5年度 本校参加イベント(外部主催)一覧◆

イベント名	開催日	開催場所	概要	出展者・参加者
2023NEW環境展	5/24(水)～ 5/26(金)	東京ビッグサイト	研究成果・技術・交流展示会	本校教員1名
つるおか大産業まつり	10/14(土)～ 10/15(日)	鶴岡市小真木原公園	研究成果・技術・交流展示会	本校教員4名 技術職員1名
おおた研究・開発フェア	10/26(土)～ 10/27(日)	本校8号館	コンgresクエア羽田	本校教員1名
鶴岡サイエンスパークまつり	11/4(土)	鶴岡サイエンスパーク	小中高生向けイベント	本校教員3名
ビジネスマッチ東北	11/8(水)	夢メッセみやぎ	研究成果・技術・交流展示会	本校教員1名
ナノテク展	1/31(水)～ 2/2(金)	東京ビッグサイト	研究成果・技術・交流展示会	本校教員1名
ものづくり企業支援講座	3/19(火)	本校視聴覚室 ほか	技術振興会会員向け 実習講座	本校教員1名 技術職員1名

Ⅱ-2 研究活動



NIT - Tsuruoka

科研費セミナーを開催

- 科学研究費(科研費)のさらなる獲得につなげようと、2023年7月31日(月)に、「科研費セミナー」をオンラインにて開催しました。
- 筑波大学 芸術系 芸術専門学群長の田中 佐代子 氏を講師にお招きし、科研費制度の概要や申請書作成スキル等について、審査委員の経験を踏まえてご講演いただきました。
- 当日は教職員25名が参加し、講演後には活発な質疑応答が交わされるなど、大変有意義なものとなりました。



筑波大学 田中 佐代子 氏



科研費セミナーの様子

II-2 研究活動



NIT - Tsuruoka

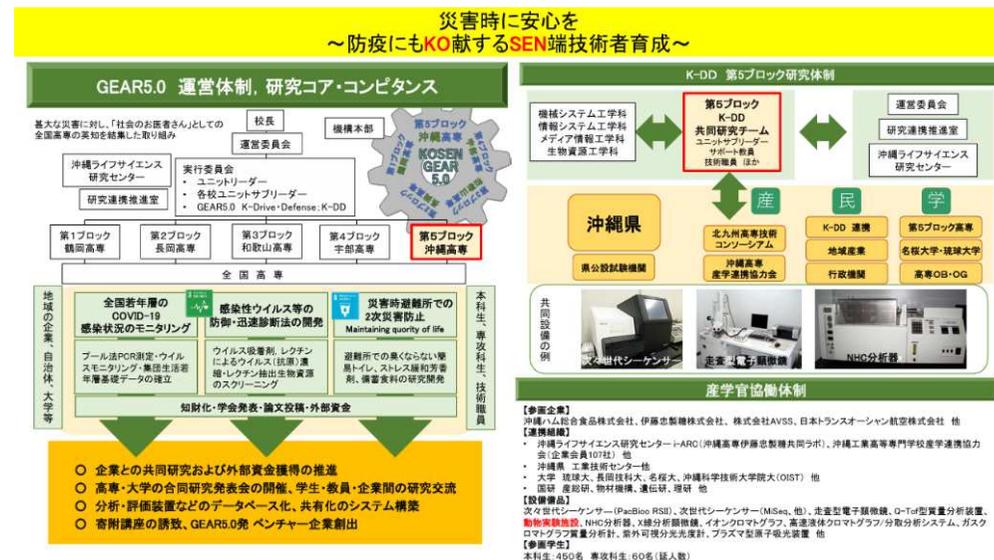
GEAR5.0での取り組み

- GEAR5.0未来技術の社会実装教育の高度化の事業において、**マテリアル分野**と**防災・減災(防疫)分野**の2つのプロジェクトに参画しています。
- GEAR5.0は、企業、自治体及び大学等との連携体制のもと、未来技術の社会実装を通じ、「人財」を育成する取り組みです。
- マテリアル分野では、ポリマーブラシ構造を付与したゴム材料、イオンブラシによるウイルス不活性化コーティング技術、防疫分野では、感染性ウイルス等の防御・迅速診断法について、それぞれ社会実装を目指します。

分野:マテリアル(代表校:鈴鹿高専)



分野:防災・減災(防疫)(代表校:沖縄高専)



Ⅱ-2 研究活動



NIT - Tsuruoka

JST 大学発新産業創出基金

みちのくアカデミア発 スタートアップ・エコシステム共創プログラムに採択

本校は、東北地区及び新潟県の大学等を共同機関とする「みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(MASP)」に参画し、本プログラムに採択されました。

本校では、これまでも地域コミュニティ学で地域特性や伝統文化・多様性などについて学び、総合工学で授業内ビジネスプランコンテストを行うなど、スタートアップ教育に力を入れてきました。本プログラムの採択を受け、プラットフォームに参画する他機関との相互作用を生み出し、社会変革の原動力となる新たなスタートアップ教育の創出を目指します。

みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム (MASP) :
東北6県・新潟県の大学・高専発スタートアップ創出・育成のためのプラットフォーム

東北大学が構築したシームレスなベンチャー支援の仕組みと経験を新潟を含めた東北7県の大学に共有する東北地域ベンチャー支援エコシステム連絡協議会を設立 (2021年2月)

MASPの前身組織 (東北地域 大学発ベンチャー共創プラットフォーム) を設立

期間: 2021年度
● 起業活動支援「みちのくギャップファンド」

MASPを設立しエコシステム形成の活動を強化

期間: 2022年度～2026年度の5年間

- 起業活動支援「みちのくギャップファンド」
- アントレプレナーシップ人材育成
- 起業環境の整備
- スタートアップ・エコシステムの形成に横断的に取り組む

MASPを拡大して起業活動支援を抜本的に強化

期間: 2023年度～2027年度の5年間

- 起業活動支援「みちのくギャップファンド」 (10校→22校が参画)

みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム (MASP)

MASP
主幹・共同機関校

秋田 AKITA
● 秋田大学
● 秋田県立大学
● 秋田工業高等専門学校

山形 YAMAGATA
● 山形大学
● 東北芸術工科大学
● 鶴岡工業高等専門学校

新潟 NIIGATA
● 新潟大学
● 長岡技術科学大学
● 長岡工業高等専門学校



MICHINOKU ACADEMIA
STARTUP PLATFORM

青森 AOMORI
● 弘前大学
● 八戸工業高等専門学校

岩手 IWATE
● 岩手大学
● 岩手県立大学
● 一関工業高等専門学校

宮城 MIYAGI
● 東北大学
● 宮城大学
● 東北学院大学
● 仙台高等専門学校

福島 FUKUSHIMA
● 福島大学
● 会津大学
● 福島県立医科大学
● 福島工業高等専門学校

みちのくギャップファンドによる伴走支援

- 採択者への伴走支援
- DEMO DAY
- みちのくイノベーションキャンプ

「レベル別ロボット体験会」に 講師を派遣

2023年10月8日(日)、鶴岡市中央児童館主催のイベント「レベル別ロボット体験会」において、本校 情報コース 佐藤淳教授と 一条洋和 技術専門職員が講師を担当し、小中学生を対象にロボット操作やプログラミング操作を指導しました。

小中学校等と連携したICT教育(出前講座)は、文部科学省が推し進める「STEAM教育」の一環として位置付けられる取り組みです。子供達にロボットに触れることを楽しんでもらうだけでなく、地域にICTを学ぶ場・学校(高専)があることをアピールすることができました。



「つるおか大産業まつり」への出展

10月14日(土)～15日(日)の2日間、「つるおか大産業まつり2023」が鶴岡市小真木原運動公園で開催され、本校から武道館エリアに合計4研究室が出展し、子供達にブースでの体験を楽しんでもらいました。

◆出展内容◆

◎佐々木研究室 「はぐるまぐるぐる」

◎宝賀研究室

「電気をつくって、電気であそぼう！」

◎森研究室・伊藤技術長

「自分で選んだキャラクターが星空を自由に動き回る体験をしよう♪」

◎森永研究室

「スライム電池で電子オルゴールを鳴らしてみよう！」



Ⅱ-3 地域連携活動



「おもしろ科学実験教室」の実施

2023年11月10日(金)、鶴岡市立あさひ小学校にて、本校教員4名・学生6名による「おもしろ科学実験教室」を行いました。本イベントは、あさひ小学校創立10周年記念行事の一環として開催したもので、全児童の皆さん及び教職員・保護者・来賓の皆様、合計150名程の方々にご参加いただきました。

参加した子供達は歓声をあげて大喜びの様子でした。質問も活発に飛び交い、子供達の理科に対する関心や理解も深まり、大変有意義な時間となりました。

本校では、今後も子供達に自然科学の面白さを伝えるこのような機会を活用し、積極的な地域貢献に取り組んで参ります。



Ⅱ-3 地域連携活動



NIT - Tsuruoka

第59回産業技術フォーラム－2023年11月11日(土)本校8号館において、東京工業大学 物質理工学院 教授 舟窪 浩 氏を講師としてお招きし、『新材料によるゲームチェンジャー データ社会におけるカーボンニュートラル実現のためのメモリ、センサ材料 —』と題し、ご講演いただきました。

「データ社会」の定義についてご説明いただいた上で、超省エネルギーで稼働するコンピューターシステムを構築する高性能で環境に優しい材料について、お話いただきました。

参加者一同、最先端技術による新材料について理解を深めることができ、新たな視点から環境問題について考える貴重な機会になりました。



舟窪 浩 氏



Ⅱ－3 地域連携活動

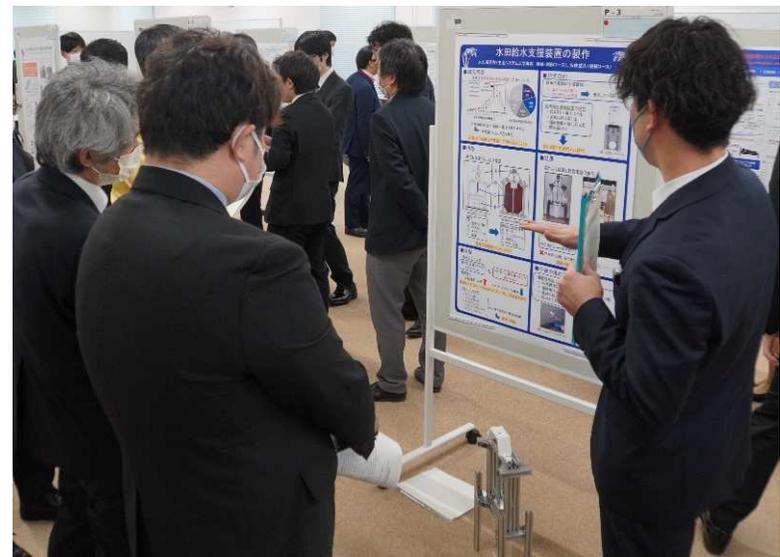


NIT - Tsuruoka

「**一地域企業参加型一専攻科生研究発表会**」は、地域企業の皆様に専攻科の研究発表を聴講いただき、本校学生と地域企業の方々が直接意見を交換する場として、2024年1月19日(金)に本校8号館にて開催しました。



研究発表では、学生がポスターセッション形式で自身の研究成果を発表し、教員や企業の方からの質問に丁寧に答えました。



企業の皆様からは、「ポイントを押さえた中身のある議論が展開され、専門性が十分に高いレベルに達している。」等と高い評価をいただきました。



Ⅱ－3 地域連携活動



NIT - Tsuruoka

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社(SCK)による特別授業実施(R6.2.1)

「電子工学」電気・電子コース3年

講師： 総括課長 葛西裕司様

プロセス技術3部 統括部長 竹田雅晴様

葛西様よりSCKがソニーグループ全体の中で占める役割について説明をいただきました。次に、竹田様より実際のデバイス製造にかかわるお話いただきました。竹田様は本校の卒業生で、今回聴講した学生の先輩にあたります。

今回の企画は鶴岡市に橋渡しをしていただいたものですが、このような現場のお話をうかがう機会を設けることは卒業生の地元定着のためにも今後より重要性を増すと考えます。



鶴岡工業高等専門学校運営協議会規程

制 定 平成14年 2月 6日
最終改正 令和 2年 5月 29日

(設置)

第1条 鶴岡工業高等専門学校（以下「本校」という。）に鶴岡工業高等専門学校運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(目的)

第2条 協議会は、次の事項について点検・評価をし、助言、指導を与える。

- 一 教育の内部質保証システム（3つの方針（DP,CP,AP）に関する項目、及び校内PDCAサイクルに関する項目を含む）に関すること
- 二 教育組織及び教員・教育支援者等に関すること
- 三 学習環境及び学生支援等に関すること
- 四 財務基盤及び管理運営に関すること
- 五 準学士課程の教育課程・教育方法に関すること
- 六 準学士課程の学生の受入れに関すること
- 七 準学士課程の学習・教育の成果に関すること
- 八 専攻科課程の教育活動の状況に関すること
- 九 その他、正副委員長が必要と認める事項

(組織)

第3条 協議会は、次に掲げる者のうちから、校長が委嘱した委員及び校長をもって組織する。

- 一 本校の所在する地域の関係者
- 二 大学その他の教育研究機関の職員
- 三 その他高等専門学校に関し広くかつ高い識見を有する者

(正副委員長)

第4条 協議会に正副委員長を置き、委員長は委員の互選により選出し、副委員長は校長をもって充てる。

2 正副委員長は、共同して協議会を掌理し会議等を招集し、議長となる。

(任期)

第5条 第3条各号に掲げる委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(オブザーバ)

第6条 本校副校長（総務・教務担当）及び事務部長は、オブザーバとして会議等に出席することができる。

(幹事)

第7条 協議会に幹事を置き、総務課長をもって充てる。

(事務)

第8条 協議会の事務は、総務課において処理する。

(改正手続)

第9条 この規程の改正は、校長の発議により、運営会議の議を経て校長が定める。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成14年2月6日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月3日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年5月29日から施行する。

鶴岡高専Uターンサイト

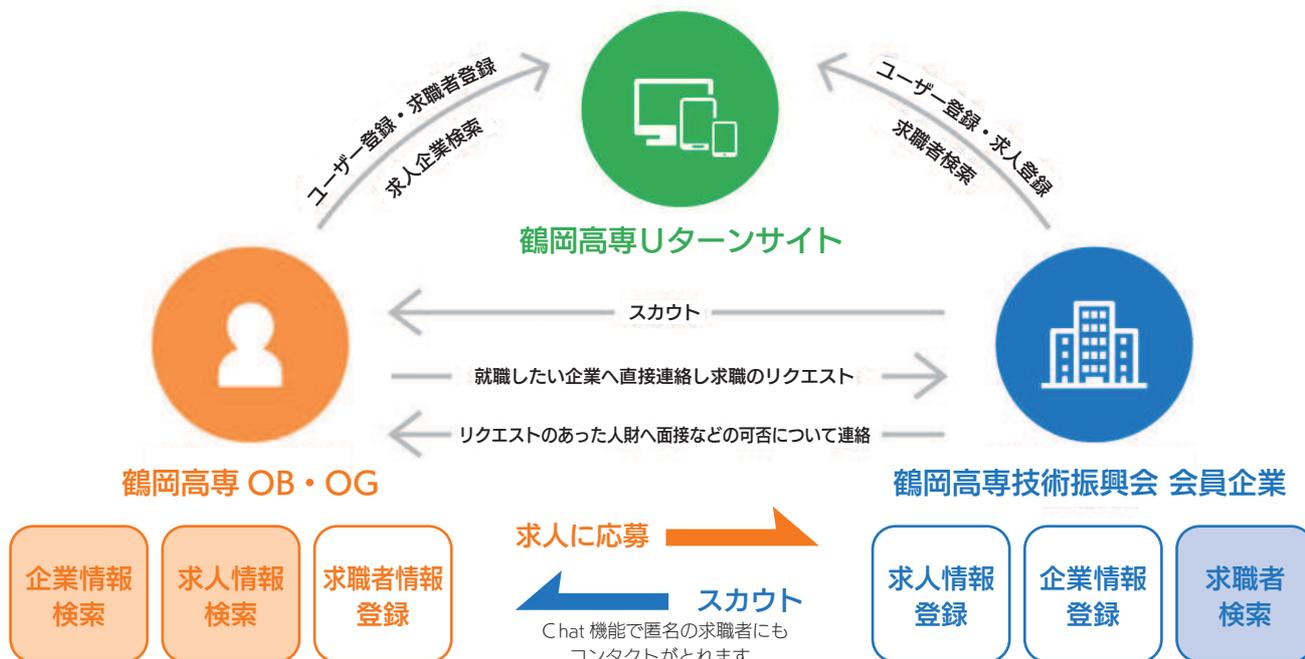
鶴岡高専技術振興会のWEBサイトで鶴岡高専卒業生専用のUターン就職に関する情報を提供します。

2024.4.1
OPEN!
本格的な運用を
スタートします。



県外に就職した鶴岡高専の卒業生で、人生の節目、家庭の事情や地方での充実した生活を意識し、Uターンを考えている卒業生は潜在的にも多く存在していると考えられます。

そこで鶴岡高専技術振興会では、地元製造業の人材確保とUターン就業者の増加を目的に、振興会の会員企業のリクルート活動支援として、会員企業の求人情報を集約し、鶴岡高専OBに情報提供するWEBサイトを新設しました。



鶴岡高専卒業生専用のUターン就職に関する情報を提供するサイトです。中途採用の求人情報や企業情報の閲覧を通じて、本校卒業生の再就職支援、会員企業への中途採用活動の支援をします。登録できるのは「鶴岡高専卒業生」「鶴岡高専技術振興会の会員企業」限定です。



鶴岡高専Uターンサイト

鶴岡高専卒業生の方

- 中途採用求人情報の閲覧
- 振興会会員企業の検索
- 求人企業への応募

高専OB求職者リスト

高専OB求職者リスト

検索結果 4件

希望の種類	検索
選択	

NO IMAGE	24歳	女性	希望職種: 庶務管理/	1年以内には転職したい	スカウト	詳細を見る
NO IMAGE	34歳	未選択	希望職種: 生産・製造技術/品管・生産管理・メンテナンス/	今すぐ転職したい	スカウト	詳細を見る
NO IMAGE	30歳	男性	希望職種: 生産・製造技術/機械・電子機械設計/企画・商品開発/	1年以内には転職したい	スカウト	詳細を見る

鶴岡高専技術振興会 会員企業

- 企業情報の登録
- 中途採用求人情報の登録・編集
- スカウト機能で求職者へコンタクト

求人情報一覧

求人情報一覧

検索結果 3件

職種	条件	検索
選択	選択	

Sample text	山形エレクトロニクス株式会社/品質保証エンジニア	山形エレクトロニクス株式会社/機械設計エンジニア	山形エレクトロニクス株式会社/オートメーションエンジニア
-------------	--------------------------	--------------------------	------------------------------

ご利用いただけるのは
鶴岡高専卒業生限定です。

新規ユーザー登録をしてからご利用ください。

ご利用いただけるのは
鶴岡高専技術振興会の会員企業限定です。

新規ユーザー登録をしてからご利用ください。

鶴岡高専OBご利用案内

- 新規会員登録**
ユーザー名、メールアドレス、パスワードを入力します。
※「スペースを1つに任意の2桁を入力してください(例:123)」にはお好きな数字を入れてください。
- アカウント有効化**
ご登録のメールアドレスにアカウント有効化のURLが届きますのでURLをクリックして下さい。
- ログイン**
鶴岡高専Uターンサイトにユーザー名又はメールアドレスとパスワードを入力しログインしてください。認証コードのメールが届きますので、記載されている数字を入力してください。
- 求職者情報登録**
会員情報ページから「ユーザー管理画面」へお進みください。管理画面の左メニューから新規求職者情報登録をクリックし、各項目の入力を行ってください。
- スカウト機能**
求職者情報登録で「スカウト希望」にチェックを入れると求職者リストに 표시됩니다。会員企業からスカウトされる可能性が高まりますので、求職者情報の入力項目をほとんど入力していきましょう！
- 求人検索**
会員企業の求人情報をご覧いただけます。

会員企業ご利用案内

- 新規企業登録**
ユーザー名、メールアドレスを入力します。
- アカウント有効化**
ご登録のメールアドレスにアカウント有効化のURLが届きますのでURLをクリックして下さい。
- ログイン**
ユーザー名又はメールアドレスとパスワードを入力しログインしてください。認証コードのメールが届きますので、記載されている数字を入力してください。
- 企業情報登録**
管理画面の左メニューから新しい企業情報登録をクリックし、各項目の入力を行ってください。
公開前に必ず画面右側にあるカテゴリー「企業情報登録」にチェックを入れ、業種を選択してから公開をクリックしてください。
- 求人情報**
管理画面の左メニューの求人情報の新規投稿をクリックし、各項目の入力を行ってください。
求人情報の制限はございません。求人情報の公開期限の設定もできますので、期日が過ぎたら非表示にすることができます。
- スカウト機能**
鶴岡高専の求職者リストからスカウトしたい方にチャットでコンタクトが取れます。

令和5年度 鶴岡工業高等専門学校運営協議会報告書

令和6年3月

独立行政法人国立高等専門学校機構

鶴岡工業高等専門学校

〒997-8511 山形県鶴岡市井岡字沢田 104

TEL 0235(25)9453 (総務課企画・連携係)

FAX 0235(24)1840 (総務課共通)

URL <https://www.tsuruoka-nct.ac.jp/>
